

## 1. はじめに

近年「ヒト、モノ、カネ、情報」などの移動が国境を越えて地球規模で盛んになり、政治的・経済的・文化的な境界線、障壁がボーダレス化するグローバリゼーションという言葉が様々な場面で使われている。そのようなグローバリゼーションに伴って、世界共通語としての英語の役割はますます拡大しており、英語圏の人々とだけではなく、英語を母国語としない者同士のコミュニケーションツールとして英語を使用する人々が増えており、アジアの中でも英語は重要な言語となっている。

ところで、隣国である日本と韓国では、生活・文化の面で儒教的規範が残っており、家父長制という共通認識で捉えることが可能である。特に、親子、夫婦関係など家族にかかわる価値観はこれらの国々の共通性として指摘することができる（瀬地山 1996）。同時に日本と韓国では様々な相違点が指摘されている。たとえば、日本人は好奇心の強い国民であるということは様々な文献で指摘されており、鶴見（1981）は好奇心が強いのは日本が島国であり、歴史的に、開国・鎖国・開国・鎖国・開国という政策の交替が、くり返されてきたためだと述べている。さらに、尾山（2008）は日本人の気質は、熱しやすく、あまりはっきりした思想を持っておらず、日本に外来思想・宗教などが入って来ると、本来のものとはかなり違ったものに変容し、それまであった思想や宗教と並存していったと述べている。一方、尾山（2008：8）によれば、「韓国人は中国や日本からの侵略にたえずさらされていたため、その勢力と妥協して適当に生きることをしないで、ほとんど一貫して抵抗してきたこと、敵か味方かという旗色を鮮明にしておくことを余儀なくされた。そのため、白か黒かをはっきり言う性格を形成せざるを得なかった」と述べている。このように同じアジアでも日本と韓国では新しく入ってくるものに対する認識にかなりの違いが見られる。

では、グローバリゼーションや英語はこのような日本と韓国の女性にどのような影響を与えてきたのであろうか。グローバリゼーションや英語に対する意識調査はいくつか行われてきたが、ジェンダー、特に、女性に焦点をあてた研究はほとんど行われていない。東アジアの先進国である日本と韓国の女性が、グローバリゼーションや英語に対してどのような意識を持っているのかを探ることは極めて現代的なテーマであり、大きな意義があると言える。ゆえに、本研究ではグローバリゼーションの流れの中、日本と韓国の女性はグローバリゼーションや英語に対してどのような意識を持ち、生活をしているのかなど両国の違いを明らかにしていくことにした。

## 2. 先行研究

### 2.1. グローバリゼーションおよび英語の比較研究

今までグローバリゼーションや英語に関する比較研究が日本および韓国を含むアジアでいくつか行われてきた。たとえば、濱田（2013）はグローバリゼーションに関する意識を「グローバル化支持意識」および「保護主義的意識」の二つの側面から捉えた上で、それぞれの意識の規定要因を男女別、さらに日本、中国、韓国、台湾の4カ国・地域別に分けて分析した結果、伝統的価値観が強いほど保護主義的意識が強まる傾向があり、さらに、経済発展が進んだ日本、韓国、台湾の3カ国・地域において「グローバル化支持意識」あるいは「保護主義的意識」に対する収入の影響が見られる一方、中国では収入による影響は見られないことを明らかにしている。さらに、職業は「グローバル化支持意識」および「保護主義的意識」にそれほど影響を与えておらず、とりわけ女性において職業による説明力が弱かったと述べている。また、「グローバル化支持意識」を従属変数にしたモデルは決定係数が全般的に低く、「グローバル化支持意識」は個人の属性によってうまく説明されず、社会的な文脈による影響を大きく受ける意識なのではないかと述べている。

英語においては、小磯（2011）が中国・日本・韓国・台湾における成人の英語力の比較を行い、海外のニュースを知るためにインターネットを使用するかどうか、欧米を訪問した経験があるか、アジアを訪問したことがあるか、欧米人の知人がいるかどうか、アジア人の知人がいるかどうかなどの英語使用に対する積極的態度が各国・地域とも英語能力に大きな影響を与えていることを明らかにしており、特に、中国ではインターネットの影響力が強く、台湾では欧米人の知人・欧米訪問経験の影響力が、日本と韓国では欧米人知人・欧米訪問だけではなくアジア人の知人・アジア訪問が影響力を持っていることを報告している。

### 2.2. 日本の英語教育

元来日本の英語教育では英米文化を学ぶものとして読解訳読に重点を置いてきたが、徐々に英語を国際語としてとらえるようになり、従来の読解中心からコミュニケーションとしての英語の必要性に移行し、聞くこと・話すことに重心を移行し始めて、外国語指導助手を教育現場に導入したJETプログラムが1987年に開始された。2002年には、「英語が使える日本人の育成のための戦力構想」を発表し、総合的な学習の時間の活動の一つとして小学校での外国語教育が正式に始まった。さらに2011年度に「総合的な学習の時間」から

独立して全国の小学校で小学 5・6 年生に対して週 1 回の外国語活動が実施されることになり、2020 年度には小学 5 年生からの英語の教科化（2018 年度から部分的実施）が検討されている。

一方、企業においても英語力が広く求められてきており、昇進の条件として、英語力を重視する企業も増えているが、一部の会社では（ユニクロや楽天など）、英語を社内公用語とすると表明している。しかし、採用の際に英語力を重視する企業は実際にはまださほど多くはない（小磯 2011）。

### 2.3. 韓国の英語教育

韓国では、国の教育政策の一つとして英語教育が重視されている。英語教育が国家政策の一つになった背景には、1980 年代からの民主化の流れの中、1993 年にはそれまでの軍部出身の大統領ではなく文民出身の金泳三が大統領（1993～1998 年在任）に就任したが、金泳三政権のもと、国家目標として「世界化政策」が掲げられたことに端を発する。さらに、1998 年の IMF（国際通貨基金）経済危機下で誕生した金大中大統領は、IMF 体制を受け入れることによって経済の建て直しと国内市場の開放、IT 技術の確立を実施し、教育面では世界化に備えた英語教育の徹底化、国際社会に対応できる人材の育成、留学の自由化に重点をおいた教育政策を推進した。このように、金泳三、金大中両政権の国家政策によって現代韓国社会では英語教育が重視され、最も力を入れている教育政策の一つとなっていた（田中 2008）。

さらに、韓国は日本以上の学歴社会であり、親は小さいころから子どもの教育に投資している。そのため親の教育熱は高く、教育費の増大が社会問題となっている。そのような中、韓国は 1997 年度に小学 3 年生から英語を正規教科として取り入れており、小学校、中学校、高等学校の教育課程の確立、国定教科書や教材の開発、充実した教員養成、研修制度など、周到な準備のもと英語教育が小学校に導入された（樋口 2005）。それに伴い早期英語教育が過熱化し、所得による教育格差、すなわち所得が多い家庭の児童は英語塾に通い、また、早期留学に行くことができるなど親の所得が子どもたちの学校以外での英語学習への参与、さらには英語力に影響を与えるなどの問題が生じてきた（カレイラ 2012）。さらに、子どもに海外で英語を学ばすために、妻子を海外に住ませ、父親は韓国に残って生計を支えるという「キログ・アッパ（雁のお父さん）」と呼ばれる父親が家族別居問題の象徴的存在として注目を集め、社会問題となった。特に、「キログ・アッパ」の孤独死や自殺など、つらい生活実態が明らかになり、早期留学に対する批判が高まった（小林 2009）。

### 3. 方法

#### 3.1. 量的調査

East Asian Social Survey (EASS) は、18 歳以上の成人を対象にした日本・韓国・中国・台湾の 4 カ国・地域が参加する国際比較調査プロジェクトであり、2008 年の調査では「東アジアの文化とグローバリゼーション」がテーマとして設定されている。2006 年以降、2 年に 1 度調査が実施されており、2008 年の EASS2008 では「東アジアの文化とグローバリゼーション」がテーマとして設定されている。本研究ではこの 2008 年度の EASS2008 を使用する。EASS2008 は、日本では 20 歳～89 歳の男女、韓国、台湾、中国では 18 歳以上の男女を対象とし、面接法または面接・留置法の併用で行われた。有効回収数は日本 2,160 名（回収率 60.6%、2008 年 10～12 月実施）、韓国 1,508 名（回収率 61.0%、2008 年 6～8 月実施）、台湾 2,067 名（回収率 44.9%、2008 年 7～9 月実施）、および中国 3,010 名（回収率 47.8%、9～12 月実施）であった。本研究ではこのうち、日本（男性 1,004 名、女性 1,156 名）・韓国（男性 693 名、女性 815 名）のデータを使用した。

EASS 2008 の調査テーマは「東アジアの文化とグローバリゼーション」であり、調査項目には、価値観、グローバリゼーションへの態度と評価等の様々な項目が含まれている。これらのうち本研究では、グローバリゼーションに関する項目として「国際的な移住」（項目 56-57）、「グローバリゼーションとナショナリズムに対する態度」（項目 58A-58C）、「グローバリゼーションに関する全体的な評価」（項目 59A-59B）、および「英語能力」（項目 60A-60C）の項目を使用した。「国際的な移住」は自国での外国人が増えたほうがよいかについて問う項目である。1 を“大いに増えたほうがよい”、5 を“大いに減ったほうがよい”とする 5 件法であったが、本研究では一貫して反転項目を用いている。よって、得点が高ければ高いほど自国において外国人が増えたほうがよいと考えていることを意味する。「グローバリゼーションとナショナリズムに対する態度」は、自国の国益を重視し、これを保護しようとする意識を問う項目である。1 を“強く賛成”、7 を“強く反対”とする 7 件法であり、得点が高ければ高いほどナショナリズムに反対で、グローバリゼーションに好意的な考えを持っている。「グローバリゼーションに関する全体的な評価」は、グローバル化が「自国経済にとって」、「自国の雇用機会にとって」良いことか、悪いことかを問う項目である。1 を“非常に良い”、7 を“非常に悪い”とする 7 件法であったが、本研究では一貫して反転項目を用いている。よって、得点が高ければ高いほどグローバル化に賛成の立場であることを意味する。また、「英語能力」は英語読解力、英会話力と英語を書く能力を問う質問項目である。1 を“非常によく出来る”、5 を“ほとんど/まったくできない”とする 5 件法であったが、本研究では一貫して反転項目を用いている。よって、得点が高ければ高いほど英

語力が高いと考えていることを意味する。その他、年齢（表 1 および表 2 を参照）、学歴（女性のみ、表 3 を参照）、および海外渡航歴（女性のみ、表 4 を参照）を分析に用いた。（以下の表 1～48 はすべて著者作成）

表 1 日本人の性別と年齢のクロス表

		性別		合計
		男性	女性	
年齢	39 歳以下	296	299	595
	40 歳以上 59 歳まで	328	406	734
	60 歳以上	380	451	831
合計		1,004	1,156	2,160

表 2 韓国人の性別と年齢のクロス表

		性別		合計
		男性	女性	
年齢	39 歳以下	315	339	654
	40 歳以上 59 歳まで	248	300	548
	60 歳以上	129	175	304
合計		692	814	1,506

表 3 国籍と最終的な学歴のクロス表

	最終的な学歴							合計
	正式な卒業資格なし	小学校	中学校	高校	短大	大学	大学院	
日本人女性	0	22	177	576	209	155	7	1,146
韓国人女性	83	98	58	307	81	165	19	811
合計	83	120	235	883	290	320	26	1,957

表 4 国籍と海外渡航歴のクロス表

		アメリカへの渡航歴		ヨーロッパへの渡航歴		アジアへの渡航歴	
		ある	ない	ある	ない	ある	ない
国籍	日本人女性	274	877	210	941	186	965
	韓国人女性	59	753	71	741	209	603
合計		333	1630	281	1682	395	1,568

### 3.2. 質的調査

インタビューや自由記述式の回答は表現に自由度があるために、量的なデータよりも豊かなデータを得ることができ、生き生きとした例や説明が自分の言葉で語られ、予測していなかった問題を見出すことができる (Dörnyei 2001)。ゆえに、EASS2008 の結果を補うために、日本と韓国の女性を対象にインタビューまたは自由記述式の質問紙調査を行った。参加者は日本人・韓国人各 23 名の 20 代から 60 代の女性である。日本人女性のほうは、著者が 20 歳から 70 歳までの女性を職業・学歴などを考慮してあまり偏りがないように選んだ。一方、韓国人女性のほうは、1 名の協力者からの紹介であると選択する際に偏りが出ることあるため、なるべく偏りが出ないように 3 名の韓国人の研究協力者に紹介してもらった。EASS2008 のグローバリゼーションと英語能力に関する項目を参考にして以下の 8 つの項目を作成した。

1. 自国で働く外国人労働者についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください。
2. 配偶者としてやってくる外国人についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください。
3. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだと思いますか。理由をお聞かせください。
4. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだと思いますか。理由をお聞かせください。
5. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれていると感じることはありますか。理由をお聞かせください。
6. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください。
7. グローバル化は、自国民の雇用機会にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください。
8. 英語はあなたにとって必要だと思いますか。英語に関してのご意見をお聞かせください。

## 4. EASS2008 の分析結果

### 4.1. グローバリゼーションに対する認識

日本と韓国においてグローバリゼーションに関する 7 項目において有意な差がみられるかを検討するため、*t*検定により比較した(表 5 および表 6 を参照)。その結果、項目 56「外国人の労働者は増えたほうがよいと思います」、項目 57「花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います」の項目に関しては日本人のほうが有意に高い得点を示していることから、日本人のほうが外国人を受け入れる傾向があることが明らかになった。また、項目 58B「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ」、項目 58C「外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている」の項目に関しても日本人のほうが有意に高い得点を示していることから、日本人のほうがナショナリズムに反対の立場をとっていることがわかる。

表 5 グローバリゼーションに関する項目の国別の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	2.86	0.84
	韓国	2.60	0.99
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	2.85	0.79
	韓国	2.66	0.98
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.74	1.14
	韓国	3.78	1.48
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.59	1.10
	韓国	3.25	1.40
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.38	1.10
	韓国	3.94	1.48
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.31	1.25
	韓国	3.31	1.14
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	日本	3.85	1.27
	韓国	3.92	1.25

表 6 グローバリゼーションに関する項目の国別の t 検定の結果

項目	t 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	8.40	2811	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	6.20	2670	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	-0.77	2693	.44
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	7.88	2734	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	9.86	2609	.00
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	0.04	3308	.97
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-1.60	3219	.11

次に、グローバリゼーションに関する項目の日本と韓国との違いを男女別に調べた。表 7 と表 8 は男性、表 9 と表 10 は女性の分析結果である。男女別の分析結果は全体とほぼ同様の結果であり、日本のほうが全体的に外国人の受け入れに寛容であり、ナショナリズムには反対の立場をとっていることがわかる。

表 7 グローバリゼーションに関する項目の男性の国別の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	2.96	0.87
	韓国	2.62	1.05
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	2.94	0.81
	韓国	2.70	1.01
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.92	1.23
	韓国	3.90	1.59
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.51	1.19
	韓国	3.21	1.49
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.36	1.16
	韓国	3.95	1.56
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.13	1.27
	韓国	3.16	1.16



59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	日本	3.76	1.34
	韓国	3.88	1.26

表 8 グローバリゼーションに関する項目（男性における日本と韓国の違い）における  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	6.97	1267	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	5.20	1218	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	0.28	1236	.78
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	4.38	1263	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	5.94	1194	.00
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	-0.57	1556	.57
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-1.89	1646	.06

表 9 グローバリゼーションに関する項目の女性の国別の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	2.78	0.81
	韓国	2.58	0.93
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	2.78	0.76
	韓国	2.63	0.95
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.60	1.04
	韓国	3.68	1.37
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.65	1.02
	韓国	3.28	1.32
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.40	1.04
	韓国	3.93	1.42
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.50	1.20
	韓国	3.44	1.11

59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだ と思いますか。	日本	3.95	1.19
	韓国	3.96	1.23

表 10 グローバリゼーションに関する項目の女性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	4.88	1534	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	3.55	1438	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	-1.50	1435	.13
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	6.86	1459	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	8.02	1411	.00
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	1.01	1734	.31
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-0.20	1673	.84

男性と女性においてグローバリゼーションに関する項目において有意な差がみられるかを検討するため、 $t$  検定により比較した（表 11 および表 12 を参照）。その結果、項目 56「外国人の労働者は増えたほうがよいと思います」、項目 57「花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います」の項目に関しては男性のほうが有意に高い得点を示しており、自国での外国人の受け入れに関しては男性のほうが寛容な立場を示していることが明らかになった。また、項目 58A「自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ」の項目に関しても男性のほうが有意に高い得点を示しているが、一方で、項目 58B「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ」に関しては女性の得点が有意に高かった。男性は外国製品が入ってくることには賛成であるが、自国の利益は守るべきであると強く考えている傾向があることが明らかになった。さらに、項目 59A「グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか」と項目 59B「グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか」のグローバリゼーションに対する全体的な評価に関してはどの項目も女性のほうが有意に高い得点を示していた。これらの結果から女性のほうが概してグローバリゼーションに寛容な態度を持っていることがわかる。

表 11 グローバリゼーションに関する項目の男女の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	男性	2.82	0.96
	女性	2.69	0.86
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	男性	2.84	0.90
	女性	2.72	0.85
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	男性	3.91	1.39
	女性	3.63	1.19
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	男性	3.39	1.33
	女性	3.50	1.17
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	男性	4.19	1.35
	女性	4.20	1.23
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	男性	3.14	1.22
	女性	3.47	1.16
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	男性	3.81	1.31
	女性	3.95	1.21

表 12 グローバリゼーションに関する項目（男女の違い）における  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	4.25	3385	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	4.28	3584	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	6.41	3349	.00
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	-2.64	3399	.01
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	-0.29	3448	.77
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	-8.02	3411	.00
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-3.25	3307	.00

次に国別に男女差を調べてみた。その結果、日本においては全体の傾向とほぼ同じであり、項目 56「外国人の労働者は増えたほうがよいと思います」、項目 57「花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います」、および項目 58A「自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ」の項目に関して男性のほうが有意に高い得点を示しており、一方で、項目 58B「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ」、項目 59A「グ

ローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか」、および項目 59B「グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか」において女性のほうが有意に高い得点を示していた。日本の女性は日本の男性よりも概してグローバル化を高く評価していることがわかる（表 13 および表 14 を参照）。一方、韓国においては項目 58A「自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ」の項目に関して男性のほうが有意に高い得点を示しており、「グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか」に関しては女性のほうが有意に高い得点を示していたが（表 15 および表 16 を参照）、日本と比較して男女の差があまり見られなかった。これらのことから、日本においては女性のほうが概してグローバリゼーションに好意的な態度を示しているが、韓国においては男女差が日本ほどは見られないといえるであろう。

表 13 日本におけるグローバリゼーションに関する項目の男女の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	男性	2.96	0.87
	女性	2.78	0.81
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	男性	2.94	0.81
	女性	2.78	0.76
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	男性	3.92	1.23
	女性	3.60	1.04
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	男性	3.51	1.19
	女性	3.65	1.02
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	男性	4.36	1.16
	女性	4.40	1.04
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	男性	3.13	1.27
	女性	3.50	1.20
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	男性	3.76	1.34
	女性	3.95	1.19

表 14 日本におけるグローバリゼーションに関する項目（男女の違い）における  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	5.15	2134	.00

57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	4.82	2125	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	6.47	1963	.00
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	-3.03	1984	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	-0.77	2026	.44
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	-6.52	1930	.00
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-3.25	1900	.00

表 15 韓国における日本におけるグローバリゼーションに関する項目の男女の平均値と標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	男性	2.62	1.05
	女性	2.58	0.93
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	男性	2.70	1.01
	女性	2.63	0.95
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	男性	3.90	1.59
	女性	3.68	1.37
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	男性	3.21	1.49
	女性	3.28	1.32
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	男性	3.95	1.56
	女性	3.93	1.42
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	男性	3.16	1.16
	女性	3.44	1.11
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	男性	3.88	1.26
	女性	3.96	1.23

表 16 韓国におけるグローバリゼーションに関する項目（男女の違い）における  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	0.86	1357	.39

57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	1.26	1457	.21
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	2.77	1373	.01
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	-0.88	1392	.38
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	0.21	1406	.83
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	-4.69	1479	.00
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-1.15	1481	.25

次に年齢別に国別の違いを調べてみた（表 17 から表 22 を参照）。その結果、項目 56「外国人の労働者は増えたほうがよいと思います」、項目 57「花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います」に関しては「39 歳以下」「40 歳以上 59 歳まで」において日本のほうが有意に高い得点を示していた。さらに、項目 58B「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ」と項目 58C「外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている」に関してはすべてのグループにおいて日本のほうが有意に高い得点を示した。

表 17 「39 歳以下」のグローバリゼーションに関する項目の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	3.04	0.80
	韓国	2.69	0.92
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	3.02	0.72
	韓国	2.62	0.92
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.85	1.15
	韓国	3.90	1.42
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.79	1.17
	韓国	3.39	1.34
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.64	1.17
	韓国	4.16	1.41
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.24	1.23
	韓国	3.25	1.08

59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか。	日本	3.77	1.32
	韓国	3.83	1.19

表 18 「39 歳以下」のグローバリゼーションに関する項目（国別の違い）の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	6.99	1225	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	8.52	1186	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	-0.69	1227	.49
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	5.59	1243	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	6.63	1235	.00
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	-0.06	1111	.95
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-0.85	1203	.39

表 19 「40 歳以上 59 歳以下」のグローバリゼーションに関する項目の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	2.90	0.80
	韓国	2.50	1.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	2.83	0.74
	韓国	2.63	0.99
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.74	1.08
	韓国	3.77	1.50
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.64	1.05
	韓国	3.17	1.46
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.46	1.07
	韓国	3.92	1.56
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.34	1.23
	韓国	3.34	1.16

59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	日本	3.85	1.23
	韓国	4.02	1.25

表 20 「40 歳以上 59 歳以下」のグローバリゼーションに関する項目（国別の違い）の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	7.49	982	.00
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	3.99	948	.00
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	-0.44	942	.66
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	6.31	943	.00
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	7.06	913	.00
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	0.01	1187	.99
59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと思いますか	-2.37	1153	.02

表 21 「60 歳以上」のグローバリゼーションに関する項目の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
56. 外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	日本	2.70	0.89
	韓国	2.55	1.07
57. 花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	日本	2.75	0.85
	韓国	2.80	1.08
58A. 自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	日本	3.68	1.19
	韓国	3.55	1.53
58B. 他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	日本	3.39	1.07
	韓国	3.06	1.38
58C. 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれている	日本	4.11	1.01
	韓国	3.49	1.41
59A. グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか	日本	3.35	1.28
	韓国	3.41	1.24



59B. グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだ と思いますか	日本	3.93	1.27
	韓国	3.96	1.35

表 22 「60 歳以上」のグローバリゼーションに関する項目（国別の違い）の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
56.外国人の労働者は増えたほうがよいと思います	2.17	427	.03
57.花嫁としてやってくる外国人は増えたほうがよいと思います	-0.81	418	.42
58A.自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ	1.33	442	.19
58B.他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだ	3.81	440	.00
58C.外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の 固有の文化が損なわれている	7.03	420	.00
59A.グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思います か	-0.74	985	.46
59B.グローバル化は、自国の人の雇用機会にとってよいことだと 思いますか	-0.35	506	.73

最後に、学歴・海外渡航歴が各項目にどのような影響を及ぼすかを調べるために、日本と韓国の女性のデータに対して重回帰分析（強制投入法）を行った。その結果、どのモデルも、それぞれの決定係数は 0.1 前後と低い水準にあり、グローバリゼーションの認識には、学歴・海外渡航歴以外の要因が影響していることが示された。

#### 4.2. 英語に関する能力

ここでは英語の能力（読む力・話す力・書く力）に対する認識について検討する。最初に日本と韓国において英語能力に対する認識に関する 3 項目において有意な差がみられるかを検討するため、 $t$  検定により比較した。その結果、どの英語能力においても韓国のほうが有意に高い得点を示した（表 23 および表 24 を参照）。

表 23 英語能力に関する項目の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.58	0.88
	韓国	1.84	0.89

60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.45	0.75
	韓国	1.78	0.84
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.67	1.18
	韓国	2.41	1.43

表 24 英語能力に関する項目の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	8.74	3654	0.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	12.15	2996	0.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	16.65	2838	0.00

次に男女別に日本と韓国における違いを検討したが（表 25 から表 28 を参照）、全体の結果と同様に男女ともに韓国のほうが有意に高い得点を示した ( $p < .00$ )。

表 25 英語能力に関する項目の男性の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.62	0.91
	韓国	2.02	0.94
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.50	0.78
	韓国	1.94	0.87
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.71	1.20
	韓国	2.60	1.41

表 26 英語能力に関する項目の男性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	-8.74	1690	0.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	-10.86	1690	0.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	-13.59	1331	0.00

表 27 英語の能力に関する項目の女性の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.53	0.85
	韓国	1.68	0.82
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.42	0.72
	韓国	1.65	0.80
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.64	1.16
	韓国	2.25	1.42

表 28 英語能力に関する項目の女性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	-3.74	1962	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	-6.71	1637	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	-10.24	1519	.00

次に英語能力に対する認識の男女の違いを調べた（表 29 から表 34 を参照）。その結果、どの英語能力においても男性のほうが有意に高い得点を示した。次に国別に男女差を調べた。その結果、日本においてはどの英語能力においても 1%水準では男女における有意な差は見られなかった。一方、韓国においてはどの英語能力も男性のほうが有意に高い得点を示した。これらのことから日本においては英語能力における男女の差はあまり見られないが、韓国においては男性のほうが有意に高い傾向があるといえるであろう。

表 29 英語能力に関する項目の男女別の平均値および標準偏差

項目	男女	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	男性	1.79	0.94
	女性	1.59	0.84
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	男性	1.68	0.85
	女性	1.52	0.76
60C.英語で手紙を書くことはできますか	男性	2.07	1.36
	女性	1.89	1.31

表 30 英語能力に関する項目の男女別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	6.53	3424.54	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	5.97	3427.28	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	4.12	3531.14	.00

表 31 日本における英語能力に関する男女別の平均値および標準偏差

項目	男女	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	男性	1.62	0.91
	女性	1.53	0.85
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	男性	1.50	0.78
	女性	1.42	0.72
60C.英語で手紙を書くことはできますか	男性	1.71	1.20
	女性	1.64	1.16

表 32 日本における英語能力に関する (性別の違い) の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	2.39	2064	.02
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	2.37	2044	.02
60C.英語で手紙を書くことはできますか	1.47	2084	.14

表 33 韓国における英語能力に関する男女別の平均値および標準偏差

項目	男女	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	男性	2.02	0.94
	女性	1.68	0.82
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	男性	1.94	0.87
	女性	1.65	0.80
60C.英語で手紙を書くことはできますか	男性	2.60	1.41
	女性	2.25	1.42

表 34 韓国における英語能力に関する（性別の違い）の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	7.60	1504	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	6.59	1504	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	4.74	1471	.00

英語能力に対する認識に関して年齢別にどのような違いがあるか調べた結果（表 35 から表 42 を参照）、どの英語能力においても年齢が低いグループほど有意に高い得点を示していた。次に、年齢別に国別の差を調べた結果、「39 歳以下」および「40 歳以上 59 歳以下」においてはすべての英語能力において韓国のほうが有意に高い得点を示したが、「60 歳以上」においては両者に有意な差が見られなかった。

表 35 英語能力に関する年齢別の平均値および標準偏差

		平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	39 歳以下	2.01	0.95
	40 歳以上 59 歳以下	1.69	0.87
	60 歳以上	1.32	0.70
	合計	1.68	0.89
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	39 歳以下	1.89	0.87
	40 歳以上 59 歳以下	1.59	0.79
	60 歳以上	1.26	0.59
	合計	1.59	0.81
60C.英語で手紙を書くことはできますか	39 歳以下	2.45	1.40
	40 歳以上 59 歳以下	2.02	1.36
	60 歳以上	1.40	0.98
	合計	1.98	1.34

表 36 英語能力に関する ANOVA（年齢別の違い）の結果

		自由度	F 値	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	グループ間	2	196.356	.000
	グループ内	3651		
	合計	3653		

60B.英語でおしゃべりすることはできますか	グループ間	2	199.955	.000
	グループ内	3652		
	合計	3654		
60C.英語で手紙を書くことはできますか	グループ間	2	206.454	.000
	グループ内	3652		
	合計	3654		

表 37 「39 歳以下」における英語能力に関する国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.87	1.02
	韓国	2.14	0.86
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.67	0.88
	韓国	2.08	0.82
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.88	1.26
	韓国	2.97	1.31

表 38 「39 歳以下」における英語能力に関する  $t$  検定（国別の違い）の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	-4.99	1169	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	-8.61	1212	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	-14.86	1245	.00

表 39 「40 歳以上 59 歳以下」における英語能力に関する国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.60	0.84
	韓国	1.81	0.90
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.50	0.75
	韓国	1.72	0.83
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.81	1.26
	韓国	2.31	1.43

表 40 「40 歳以上 59 歳以下」における英語能力に関する  $t$  検定（国別の違い）の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	-4.26	1278	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	-4.97	1278	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	-6.49	1092	.00

表 41 「60 歳以上」における英語能力に関する国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.34	0.73
	韓国	1.24	0.60
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.26	0.58
	韓国	1.25	0.60
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.39	0.97
	韓国	1.41	1.00

表 42 「60 歳以上」における英語能力に関する  $t$  検定（国別の違い）の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	2.36	653	.02
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	0.16	1126	.87
60C.英語で手紙を書くことはできますか	-0.31	1126	.76

英語能力の各項目に関して年齢別に日本人女性と韓国人女性との間に有意な差が見られるかを検討するため、 $t$  検定により比較した（表 43 から表 48 を参照）。その結果、「39 歳以下」では項目 60B「英語でおしゃべりすることはできますか」および項目 60C「英語で手紙を書くことはできますか」において有意な差が見られ、韓国人女性のほうが有意に高い得点を示した ( $p < .00$ )。「40 歳以上 59 歳以下」では項目 60C「英語で手紙を書くことはできますか」において有意な差が見られ、韓国人女性のほうが有意に高い得点を示した ( $p < .00$ )。一方、「60 歳以上」においては項目 60A「英字新聞の短い記事を読むことができますか」において有意な差が見られ、日本人女性のほうが有意に高い得点を示した ( $p < .00$ )。

表 43 「39 歳以下」の英語能力に関する項目の女性の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.86	1.01
	韓国	1.99	0.81
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.70	0.87
	韓国	1.99	0.79
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.92	1.27
	韓国	2.89	1.36

表 44 「39 歳以下」の英語能力に関する項目の女性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	1.76	573	.08
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	4.46	608	.00
60C.英語で手紙を書くことはできますか	9.32	635	.00

表 45 「40 歳以上 59 歳以下」の英語能力に関する項目の女性の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.57	0.82
	韓国	1.66	0.83
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.47	0.72
	韓国	1.59	0.78
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.84	1.28
	韓国	2.18	1.42

表 46 「40 歳以上 59 歳以下」の英語能力に関する項目の女性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	1.44	703	.15
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	2.09	703	.04
60C.英語で手紙を書くことはできますか	3.26	605	.00



表 47 「60 歳以上」の英語能力に関する項目の女性の国別の平均値および標準偏差

項目	国	平均値	標準偏差
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	日本	1.28	0.67
	韓国	1.10	0.38
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	日本	1.18	0.49
	韓国	1.11	0.39
60C.英語で手紙を書くことはできますか	日本	1.26	0.82
	韓国	1.16	0.68

表 48 「60 歳以上」の英語能力に関する項目の女性の国別の  $t$  検定の結果

項目	$t$ 値	自由度	有意確率
60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか	4.21	542	.00
60B.英語でおしゃべりすることはできますか	2.00	401	.05
60C.英語で手紙を書くことはできますか	1.51	387	.13

最後に、学歴・海外渡航歴が各項目にどのような影響を及ぼすかを調べるために、日本と韓国の女性のデータにおいて別々に重回帰分析（強制投入法）を行った。その結果、決定係数が 0.2 以上あったのは、日本人女性では「60B.英語でおしゃべりすることはできますか」であり、学歴と海外渡航歴に正の影響が見られた。韓国人女性では「60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか」「60B.英語でおしゃべりすることはできますか」において決定係数が 0.2 以上あった。「60A.英字新聞の短い記事を読むことができますか」においては学歴とアメリカへの海外渡航歴に正の影響が見られ、「60B.英語でおしゃべりすることはできますか」においては学歴とアメリカ・アジアへの海外渡航歴に正の影響が見られた。

## 5. 質的調査

ここではインタビューないし自由記述式の回答結果を各項目にわけて検討していく。

### 質問項目 1「外国人労働者についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください」

日本人女性は23名のうち18名が外国人労働者は増えたほうがよいと考えており、韓国人女性は12名が増えたほうがよいと考えていた。回答を比較してみると、日本人女性は「様々な考え方を持つ人間が同じ世界にいた方がいいと考えているから。そうしたら少しは外国人へのおもてなしもできるようになるのではないかと考える」、「日本人だけが住みやすい国ではなく、世界中の人が住みやすい・訪れやすい国になりやすい気がする」、「もっと外国人との交流を日頃から深めるべきであると思うから」などのように現実的な問題ではなく、国際交流などの観点で回答しているものが多く見られた。一方で、韓国人女性は「勤労環境と時間に比べて少ない対価をもらうことについては処遇改善が必要である。外国人の労働者が主に自国民が嫌がる3K職種に勤めているだけに外国人労働者の増加は必要な部分であると思う」などのように現状を見つめたうえで、客観的に回答しているものが多かった。

### 質問項目 2「配偶者としてやってくる女性の外国人についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください」

配偶者としてやってくる外国人について肯定的な立場を示している日本人女性は14名で、その他残り全員が中立な立場をとっており、反対の意見を述べている人はいなかった。一方で、韓国人女性は9名が肯定的な立場を示しており、10名が中立的な立場をとっていた。日本人女性の回答を検討してみると、「日本に海外の文化を持ち込んでくれそう」、「日本の子どもたちもいろんな文化に触れることができるし、友達の幅が広がる」、「小さな村文化の中に『花嫁』が来ることによって文化的広がりをもたらすと思うからです。それは例えば、学校でも同じ。価値観の多様性を認識できると思います。子どもに対する評価も多様になる効果も促進できると思います」など現実的な問題よりも外国人の配偶者が来ることによって文化や価値観が多様になるなどの観点から賛成している意見が多く見られた。一方、韓国人女性は「農村や漁村の困った現実をみても、『外国人花嫁』の増加が期待される。彼女たちにもっと合法的な滞在の保障と待遇の措置が用意されるべきである」などのように交流よりも現実的な観点から意見を述べているものが多く見られた。

また、韓国人女性では中立的な意見を述べているものが多く見られたが、「結婚は個人の選択と決定によるものであるため、問題はないと思う。ただし、外国人女性との結婚におい

て基本的な要素が愛と信頼ではなく需要と供給の関係ならば減少したほうが良いと思う」、  
「配偶者同士でお互い愛し合って疎通できるのであれば構わないが、仲介業者を通した結婚は問題ありだと思う」「仲介業者を通して韓国人男性と結婚しに来る東南アジアの女性たちの多くは、本当の愛より他の目的によって来る人が多いと聞いているがそういう結婚に対しては反対であり奨励する必要はないと思う。その一方で、男女互いの利益にもとづく契約関係で結ばれたとしてもその中で幸せを見つけて家庭を築いていくことを見るとそれはそれでいいと思ったりする」など、仲介業者を通しての結婚に関しては反対であるが、日本人同士が愛し合っているのなら賛成であるという趣旨の意見がいくつか見られた。なお、日本人女性にはこのような意見は見られなかった。

**質問項目 3「自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだと思いますか。理由をお聞かせください」**

制限すべきではない、または条件付きで制限すべきでないという意見を述べていた日本人女性は 9 名で、韓国人女性は 14 名であった。日本人女性は「個人的には安くてもいいものがあればありがたい」など日本の国の状況というよりも自分の事情により、門戸を広げておくべきだろうという意見が多かった。一方で、韓国人女性は「韓国の経済のための最小限の保護さえあれば良いと思う。韓国経済だけを保護するために外国製品の輸入を制限することは国内の業者の発展にも役立たないと思う。単に中小企業の製品を保護する次元であれば国が他の方法で保護できる工夫をしなければならない。現在はインターネットなどを通じて購入が可能であるため、一定の部分を制限することは時代錯誤だと思う」、「韓国経済を守るためには適切な輸入制限も必要と思うが、何より内需が回復しないといけない。内需経済が回復するために、製品の競争力が確保できないといけない。品質・価格競争で外国製品との戦いで勝たなければいけないので、外国製品について詳しく把握しておかないといけないと思う。外国製品を理解するためにも輸入は必要である。鎖国は『井の中の蛙 大海を知らず』である」のように韓国の経済のことを考えると、輸入においても広く門戸をあけておくべきであるという意見を述べているものが多かった。一方、輸入を制限すべきだという意見は制限すべきではないという意見に比べて少なかったが、両国とも農業、特に、米の問題をあげている意見がいくつか見られた。

**質問項目 4「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだと思いますか。理由をお聞かせください」**

日本人女性は 6 名が、韓国人女性は 10 名が他国と対立しても国益を追求すべきであると回答していた。日本人女性は「ほどほどに追求すべきであると思う。戦争などの争いになるのなら避けるべきであるが、日本も一つの国であるので、国益は大事であるから」、「日本の経済を成り立たせる程度には国益は必要だと思います。対立してもいいわけではないので

すが」など国益を追求すべきであるが、戦争や対立などはなるべく避けなければならないと記載してあるものが多かった。一方で、韓国人女性の中には「韓国は先進国でも強国でもない。対立を避けるばかりだと、韓国の国としての立場が危うくなり、自国民の安全を揺るがす問題が起こりかねない。領土問題など、本当に重要な国益のためには対立は当然といえる」などのように領土問題に触れて強く国益を追求すべきだと主張する意見がいくつか見られた。

**質問項目 5「外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれていると感じることはありますか。理由をお聞かせください」**

外国の文化に触れることで自国の固有の文化は損なわれているとは感じていないと回答した日本人女性は 19 名で韓国人女性は 15 名であった。これらのことから両国の女性の多くが外国の文化に触れることにより自国の文化が損なわれているとは感じていないということがわかる。日本人女性は「外国の文化に触れることで逆に日本の良さを見出し、日本の文化を大切にしようとしている人もいるのでそうは思わない」と述べており、韓国人女性も「固有の文化アイデンティティに損失はないと思う。固有の文化アイデンティティの問題より、固有の文化自体の魅力を高める努力をしたほうが大事だと思う。韓国固有の文化を保存する努力さえあれば、韓国文化の発展のためにも外国の文化を取り入れるべきだと思う」など両国とも外国の文化を取り入れることにより、自国の文化の発展に寄与するのではないかと述べている意見が多かった。

**質問項目 6「グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください」**

日本人および韓国人女性ともに 13 名が、グローバル化が自国の経済にとってよいことだと思っていることが明らかになった。日本人女性は「日本は資源もなく小さな国なので、日本国内だけで経済の成長をはかるのは無理。ある特定の国々との関係だけでは必ずしも日本の経済によいとは言えない。本当のグローバルな視点をもっている必要があるのでグローバル化は日本の経済にとってよいことだと思う」、「現在の世界では、グローバル化を推進していかななくてはならないのではと思います。特に日本は、人口が先細りしていく状態にあるので、世界に目を向けて世界の市場でも勝負できるような力を得ていくことが必要なのではと思います」など日本の現状を考えるとグローバル化は必要であるという意見が見られた。一方で、韓国人女性は「グローバル化はインターネットで世界が一つにつながる今の時代に不可欠なことといえる。昔と比べ情報の共有、人と人のコミュニケーションも早くなっており、それによって世界の人々が協力し合える関係になってきていると思う。人的資源がもっとも大事な今の時代にグローバル化は経済発展のための重要な要因となるだろう」、「グローバル化は良い悪いではなく、それを認めざるをえない時代になっており、グローバ

ル化は当たり前だと思う。インターネットやスマートフォンなどの発達で世界のどこでもつながる時代である。このような時代に韓国経済とグローバル化は分離して考えられないと思う」などインターネットなどの情報通信技術（Information and Communication Technology : ICT）技術の発展に触れている意見がいくつか見られた。

**質問項目 7「グローバル化は、自国の雇用機会にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください」**

日本人女性は 11 名が、韓国人女性は 17 名が、グローバル化が自国の雇用機会にとってよいことだと考えていると答えていた。具体的な回答を比較してみると、日本人女性は「よいことだと思う。就職難が続く現代では仕事の可能性が広がるから」、「よいことだと思う。日本人の外国進出にも影響すると思うから」と述べており、韓国人女性も「韓国は小さい国である。一方、教育熱心の国であり、世界に通用できる人材がたくさんいる国ともいえる。このようなメリットを十分生かしつつ、自国の国益のためにグローバル化を進めたほうがよいと思う」、「韓国人が外国で働けるチャンスが増えるのではないかと思う」などのように両国ともグローバル化により海外での仕事の幅が広がるという趣旨の回答が多かった。

**質問項目 8「英語はあなたにとって必要だと思いますか。英語に関してのご意見をお聞かせください」**

日本人女性は 2 名以外全員が、韓国人女性は 1 名以外全員が、英語が必要であると回答していた。日本人女性は「日本にとどまってはいけない、世界中の人と関わって生きていけるようになるためには英語が必要不可欠だと思う」、「必要である。多くの人とコミュニケーションをとるうえで、持っておくべき能力であると思う」、韓国人女性は「英語は必要だと思う。韓国語ではない英語で接するとき、より多くの情報を迅速に接し得る場合もあるからです」、「必要だと思う。国際共通語として必要だと思う」など両国とも様々な観点から英語が必要であるという意見を述べていた。

## 6. 考察

ここでは量的調査と質的調査をあわせて各項目について検討していく。

外国人労働者に関しては、量的・質的調査ともに、韓国人女性より日本人女性のほうが外国人労働者の受け入れに賛成であるという結果が得られた。ただし、質的調査の各参加者の回答を比較してみると、日本人女性は外国人との交流という観点から外国人労働者の受け入れに賛成であるという意見が多い一方で、韓国人女性は韓国の労働環境の現状を客観的に見つめたうえで外国人労働者が必要であると回答しているものが多かった。外国人配偶者についても量的・質的調査ともに、韓国人女性よりも日本人女性の方が外国人配偶者を受け入れる傾向が見られた。一方で、日本人女性の質的調査の回答には、項目1の外国人労働者に対する回答と同様に、外国人配偶者が海外の文化を持ち込んでくれるなど文化的な交流を主とする意見が多く見られた。一方で、韓国人女性の回答には賛成・反対・中立のどの意見においても韓国の現状を自ら解釈して回答している意見が多かった。これらのことから、「国際的な移住」に関する意見は日本人女性のほうが総じて賛成の意を表しているが、日本人女性は外国人という国際交流・文化交流などと考える傾向があり、日本の現状を客観的に分析した回答が少なく、日本人女性は韓国人女性と比較すると、社会問題に対して関心が低いのではないかと推測できる。また、これらのことは、好奇心が強く、熱しやすく、あまりはっきりした思想を持っていない（尾山 2008; 鶴見 1981）という日本人の特徴が影響しているともいえるであろう。

さらに、他国と対立しても自国の利益を追求すべきだという意見についても量的・質的調査ともに日本人女性のほうが韓国人女性より反対の意見を表しているものが多かった。また、韓国人女性は領土問題のことに触れている意見がいくつか見られたが、日本人女性は領土問題についての意見は見られなかった。これらのことから韓国人女性は領土問題にかなり関心が高いということがわかる。

文化に関する項目は量的調査の他の項目と比較して平均点がかなり高かった。同時に質的調査においても両国とも外国の文化に触れることにより、自国の文化が損なわれていると感じている人は非常に少なかった。一方、日本人女性と韓国人女性を比較すると、量質両面において日本人女性のほうが韓国人女性よりも自国の固有の文化は外国文化により損なわれているとは感じていないということが明らかになった。

量的調査において日本人女性と韓国人女性との間に、有意な差が見られなかった項目、すなわちグローバル化が経済に及ぼす影響に関しては、質的調査においても日本人女性と韓国人女性との間に回答の差はあまり見られなかった。一方で、グローバル化が雇用に対して及ぼす影響と外国製品の輸入の制限に関しては量的調査では日本人女性と韓国人女性との間に有意な差が見られなかったが、質的調査では韓国人女性のほうが、グローバル化は自国の雇

用機会にとってよいことだと思っており、さらに、韓国の経済状況を考えると外国製品の輸入を制限すべきではないと考えていることが明らかになった。すなわち、これらの項目の量的調査と質的調査の結果が異なった。

また、重回帰分析の結果、学歴・海外渡航歴はグローバリゼーションに対する認識に影響を与えていないことが明らかになったが、グローバリゼーションに関しては個人の属性によってうまく説明されず（濱田 2013）、その他の要因が影響しているといえるであろう。

英語能力に関しては、韓国人女性の方がすべての英語能力において有意に高い得点を示していた。一方、年齢別に調べてみると、年齢が低いほど項目 60B「英語でおしゃべりすることはできますか」と項目 60C「英語で手紙を書くことはできますか」において韓国人女性のほうが有意に高い得点を示しており、60 歳以上になると項目 60A「英字新聞の短い記事を読むことができますか」においては日本人女性のほうが有意に高い得点を示していた。韓国では近年英語の必要性が叫ばれ、日本よりも進んだ英語教育、たとえば、小学校での英語教育を日本よりも 10 年以上前から始めており、さらに、ICT などの技術を英語教育に積極的に取り入れてきたが、このような努力が今回の結果に表れたのではないかと思われる。一方、60 歳以上の女性が中学や高校に通っていた時代は、韓国は日本よりも女性の社会進出や進学率もかなり低かった。また、その当時日本の英語教育は今よりも文法訳読を中心とした詰め込み教育を行っており、このような社会状況が今回の結果に表れたのだと思われる。

さらに、重回帰分析の結果、日本人女性は項目 60B「英語でおしゃべりすることはできますか」において学歴と海外渡航歴に正の影響が、韓国人女性は項目 60A「英字新聞の短い記事を読むことができますか」においては学歴とアメリカへの海外渡航歴に正の影響が見られ、60B「英語でおしゃべりすることはできますか」においては学歴とアメリカ・東南アジアへの海外渡航歴に正の影響が見られた。すなわち、日本人女性は、学歴が高ければ高いほど、また、場所には限らず海外渡航歴があればあるほど、自分自身の英語のスピーキング力が高いと認識する傾向があるといえる。一方、韓国人女性は、項目 60A「英字新聞の短い記事を読むことができますか」においては学歴が高ければ高いほど、アメリカへの海外渡航歴があればあるほど、項目 60B「英語でおしゃべりすることはできますか」においては、それらに加えて東南アジアへの渡航歴がある人ほど自身の英語力を高いと認識していることが明らかになった。ところで、韓国人女性の項目 60B「英語でおしゃべりすることはできますか」のみに東南アジアへの渡航歴が影響していたが、近年フィリピンやシンガポールなど廉価に留学できるアジアの英語圏に韓国人が多く留学しており、特に、フィリピンなどでは 1 対 1 のマンツーマン授業が主流となっている。そのような状況が本研究の結果に影響しているのではないかと思われる。

最後に、質的調査の結果から両国ともほとんどの女性が、英語が必要であると感じていることがわかった。すなわち、グローバル化に対しては両国においてかなりの認識の違いが見

られたが、英語の必要性に関しては両国の多くの女性が、英語が必要であると感じており、両国の認識にあまり違いがみられないことが明らかになった。



## 7. おわりに

グローバリゼーションと英語に関する意識について量的・質的調査を日本人および韓国人の女性に行った結果、量質ともにほぼ同様の結果を示した。第一に、日本人女性のほうがグローバリゼーションを受け入れている傾向が見られたが、英語能力に関しては韓国人女性のほうが自らの英語能力を高いと認識していることが明らかになった。第二に、質的調査により韓国人女性は自国の経済・社会の状況を考えてグローバル化は必要である、あるいは必要でないと回答していたが、日本人女性は国際交流や文化交流の観点からグローバル化が必要であると考えていた。すなわち、本研究結果から日本人女性は韓国人女性と比較するとグローバリゼーションを受け入れているという結果が見られたが、それは社会的問題や経済的問題に対して疎い傾向があるためではないかと推測できる。グローバリゼーションが広がる今日において女性の活躍が期待されている。ゆえに、日本人女性は国際交流という観点からのみならず、より客観的にグローバリゼーションをとらえ、社会や経済の問題などにもっと目を向けていくべきであろう。

## 謝 辞

下記の資料を使用させていただき、誠にありがとうございました。

East Asian Social Survey (EASS) is based on Chinese General Social Survey (CGSS), Japanese General Social Surveys (JGSS), Korean General Social Survey (KGSS), and Taiwan Social Change Survey (TSCS), and distributed by the EASSDA.

## 引用文献

尾山令仁 (2008) 「キリスト教の受容—日本人と韓国人を比較して—」『経済系：関東学院大学経済学会研究論集』第 234 集、1-17。

小磯かをる (2011) 「中国・日本・韓国・台湾における成人の英語力の比較と各国/地域の若者層の英語力の規定要因—EASS 2008 のデータをもとに」『大阪商業大学論集』第 7 巻、第 2 号、19-33。

カレイラ松崎順子 (2012) 『韓国の英語教育と EBSe の果たす役割』、ブイツーツソリューション  
瀬地山 角 (1996) 『東アジアの家父長制—ジェンダーの比較社会学』、勁草書房。

鶴見和子 (1981) 『好奇心と日本人』講談社。

樋口忠彦 (2005) 「諸外国における小学校外国語教育」樋口忠彦ほか編『これからの小学校英語教育—理論と実践—』、研究社、1-33。

濱田国佑 (2013) 「東アジアにおけるグローバル化意識の規定要因—EASS 2008 を用いた 4 カ国・地域の分析から—」『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集』13、105-115。

Dörnyei, Z. (2001) . *Teaching and researching motivation*. Harlow: Longman.

## 付録 A

質問項目 1 「外国人労働者についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください」 の回答例

日本人女性

- ・ 増えたほうがいい。
- ・ 様々な考え方を持つ人間が同じ世界（ここでいう日本）にいた方がいいと考えているから。そうしたら少しは外国人へのおもてなしもできるようになるのではないかと考える。
- ・ 日本人だけが住みやすい国ではなく、世界中の人が住みやすい・訪れやすい国になりやすい気がする。
- ・ どちらともいえない。日本で働くということは、生活があるわけで、住居、食、コミュニティでのかかわりなどの環境が整えられている必要がある。それらが整えられていない現在では、搾取がおきたり、差別や犯罪が増えたりと悪いニュースばかりが聞こえてくるので、心配になる。増えることがその国と日本の両方にプラスであればよいと思う。
- ・ 増えたほうがよいと思う。理由はいろんな国の人と接する機会があるし、日本人の凝り固まった考えと違った発想があってもいいんじゃないかと思う。
- ・ 増えたほうがよいと思う。他の先進国に比べて少ないし、日本人のできることにも限界がある。いろんな民族の特徴を生かして日本の国力を高めたほうがよいと思う。
- ・ 増えたほうがよいとか悪いとか言える問題ではないような気がする。
- ・ 日本の労働人口が減っていくと考えられているので、外国人の方の労働力も必要となってくると思う。
- ・ どちらでもよい。経済の活性につながるのであれば。
- ・ 外国の方しか出来ない仕事もたくさんあると思うので増えてもいいと思う。
- ・ 増えた方がよいと思う。外国人と話すと色々知れて楽しい。
- ・ 増えることは必至なのではと思う。少子高齢化で労働力が減っていく一方なので、介護や建築現場など人手不足が顕著な現場では、外国人労働者の労働力が不可欠なものではないかと考える。
- ・ 日本を活性化させるためにも増えることはいいことだと思う。
- ・ さまざまな価値観や考えを持つ人とかかわる機会が増えると思うので、増えたほうがよいと思う。
- ・ 増えたほうがよい。自分もそのうちの一人になりたい。
- ・ 増えた方がよいと思う。もっと外国人との交流を日頃から深めるべきであると思うから。
- ・ 増えたほうがよいと思う。賃金が安いから。

- ・企業が求めるなら増えてもいいと思う。
- ・増えたほうがいいと思う。
- ・増えたほうがいいと思う。
- ・減ったほうがいいと思う。日本人に仕事がないのに外国人にあげている場合ではないと思う。
- ・増えたほうが良い。日本はグローバル化の対応に遅れている。そのためにも、多国籍の人種で働くということに早く慣れるべきであると考えます。
- ・増えたほうがいい。看護師など外国からの労働力が戦力になるだろうと思うから。

#### 韓国人女性

- ・減少したほうが良い。国内の景気沈滞により国内労働者の働く場が減っているから。
- ・どのような側面(経済または文化など)から増加と減少を評価すべきか不明確であるが、全般的に考えると、国内の実業状況と雇用不安定を勘案した場合、外国人の労働者は減少したほうが良いと思う。
- ・勤労環境と時間に比べて少ない対価をもらうことについては処遇改善が必要である。外国人の労働者が主に自国民が嫌がる 3K職種に勤めているだけに外国人労働者の増加は必要な部分であると思う。
- ・外国人労働者に対する待遇と労働環境がどのようになるかによって変わると思う。彼らに対する待遇と労働環境が改善されれば韓国に外国人労働者が増加することは高齢化・少子化などの助けになると思う。しかし、待遇及び労働環境が悪いならばかえって減少したほうが良いと思う。
- ・減少したほうが良いと思うが、最終的な決定は事業主が決定することだと思う。現在、職場のない若者が増えている状況から外国人労働者が増えると、国内の職場が減るから。
- ・状況によって違うと思う。韓国の人手不足状況が続くとしたら増えたほうが経済に役立つと思うが、単に出稼ぎをいくらでも許可してしまったらいろんな面で問題が起こる恐れがある。今も外国人労働者の滞在可能期間が定まっているが、すでに「難民」や「不法滞在者」が増加し続けているようで、無責任な増加対策には反対である。
- ・現在の状況ではどちらとも言えない。外国人労働者が増えるのは将来人力確保のため重要であるが、現在の韓国政府は人数だけ増やしているような印象を受ける。外国人労働者の福祉や待遇・韓国の現状などを考慮して、しっかりした対策を整えるほうが先であろう。
- ・現在外国人労働者が韓国の産業を支えている分の妥当な待遇を受けられるようにして、そのような社会的雰囲気を作ったあと、韓国社会の一人の構成員として定着できるようにしてあげるべきだと思う(韓国語教育・各種保険・弱者としての保護政策など)。まずそのような雰囲気を整えておくと韓国社会の必要性によって自然に外国人労働者の増

減が決まると思う。個人的には増やすほうが自然でよいと思う。私自身もいつか外国へ出て行って労働者になるかもしれないことを考えると、外国からもいい職場をもとめて韓国に来ることができればいいと思う。

- ・増えるのはかまわないが、不法滞在はなくなってほしい。
- ・増えてもいい。ともに生きて、彼らの貢献を認めるので。
- ・否定的。増えても減ってもいいが、外国人労働者の増加が国内の仕事の質の低下に影響するか懸念する。
- ・増えたほうがいいと思う。人手不足の産業分野に役立つ方法として良いと思う。しかし、企業の要求と外国人労働者に関する政府方針を整備したうえで許容するべきである。
- ・増えたほうがいい。青少年の失業率や労働市場の悪化で外国人労働者への冷たい視線はあるが、長期的な展望に立って考えれば、少子化や高齢化が進んでいる現在、外国の優秀な人材を活用するのは、避けることのできないことだと思う。
- ・人手不足が深刻な労働分野で外国人労働者を雇うのは問題ないと思う。どちらかという外国人労働者に対する待遇が十分保証されたうえで彼らの数が増えるのは問題ないと思う。
- ・増えたほうがいいと思う。その理由は、労働人口減少や高齢化社会による人力不足が国内の人材だけで十分ではないことと、さらに自由競争が激しくなっていくにつれ、外国人労働者がもっと必要になると思う。
- ・増えた方が望ましいが、外国人労働者の犯罪経歴などの照会システムが構築されるべき。
- ・外国人労働者は3K職種に勤めながら経済開発に主な役割をしたが、現在、外国人労働者に関する法律などがまだ十分に整っていないから。
- ・外国人労働者の身分を悪用し、各種犯罪を起す可能性がある。従って、ある程度の規制は必要だと思われる。
- ・必要性によって決まる。
- ・外国人労働者の増加は時代の流れから当然のこと。
- ・現在外国人労働者の勤務環境は劣っていて、安い賃金で雇われつつ、生産現場の不足を補っている実情である。彼らの存在を認め、共存する方法を模索すべき。
- ・生産職の人手不足で困る中小企業では外国人労働者は実に役に立つ。適切な処遇法案を作る必要性がある。

質問項目 2 「配偶者としてやってくる女性の外国人についてどう考えますか。増えたほうがよいと思いますか。減ったほうがよいと思いますか。理由などをお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・増えたほうがいい。

- ・強いて言えばの話。減ったほうがいいとは思わない。日本に海外の文化を持ち込んでくれそう。そこから新しい文化（日本×海外の新文化？）が生まれるかもしれない。
- ・増えたほうがいいのか減ったほうがいいのかの問題ではない。テレビなどでは「慣れない日本文化に一生懸命溶け込もうと努力し、苦労もあるが楽しく暮らしている」という話ばかりでているが、実際はどうなのだろうか。花嫁さんにしたい人がたまたま外国人であったというのなら増えてもよいが、農業に従事していて日本人の花嫁がこないから外国の人を花嫁にしようという発想は賛成できない。
- ・増えたほうがいいと思う。子どもたちとかも国際的でいいと思う。いろんな文化に触れることができるし、友達の幅が広がる。
- ・えらいと思う。日本の習慣とか生活していくだけでも大変だと思うから。
- ・拒まないほうがいい。すごく賛成ではない。小さな村文化の中に花嫁が来ることによって文化的広がりをもたらすと思うから。それは例えば、学校でも同じ。価値観の多様性を認識できると思う。子どもに対する評価も多様になる効果も促進できると思う。
- ・増えるとか減るとかよくわからないが、来ていただけるのなら全然よいと思う。
- ・国際結婚大歓迎。
- ・あまり考えたことがない。どちらでも。
- ・増えたほうがいい。
- ・日本で生活する上でのきまりなどを日本の母親と同じように守れるのであれば増えてもいいと思う。
- ・国際結婚された方が周りにもいますが、素敵なお夫婦なのでいいなと思いました。
- ・どちらとも言えない。少子化で労働力を確保するということは、国力を上げる意味で必要とは思いますが、少子化に対抗するために外国人の配偶者をどうしても増やさなくてはならないのかとまでは思わないから。他の方策もあるのではないかと思う。
- ・否定的には思わないがどちらでもいいと思う。結婚するまでの経緯にはそれぞれ事情があるとおもうので。
- ・配偶者として来るのはいいと思う。しかし受け入れる側の私たちがきちんとその体制をとれていないように思えるのでこちら側が努力する必要があると思う。
- ・増えたほうがいい。国際交流を深めているいろんな人と話してみたい。そのことによって言語の枠も広がると思う。
- ・良いことだと思う。国際化も進み、より増えればよいと思う。
- ・どちらでもいいと思う。
- ・やってくることに別に抵抗はないので 増えても良いと思う。
- ・よくわからない。
- ・増えたほうがいいと思う。
- ・別にどちらでもいいと思う。個人の自由。

- ・増えたほうがいい。両者が承知なら人種でとやかく言う必要はない。
- ・どちらとも言えないが、配偶者として日本にやってくるケースには、本人が日本の生活に適応していこうという意思がない場合、子どもの教育などで支障がでてくると思う。

#### 韓国人女性

- ・どちらでも・多文化家庭の社会問題として扱うよりは一つの現象と見たほうがよい。優秀な外国人人材の輸入とともに国際家庭ができるのは自然なことだと思う。
- ・外国人女性が国際結婚を通じて国内に居住することはその分韓国の経済的な地位が高くなったと思いき、国際結婚そのものが悪くはないと思う。ただし、教育や文化のレベルが高い先進国の女性は本人の能力によって経済的な活動が可能な場合にはお互い役に立つと思うが、そうでない国際結婚の場合は国内の国際家庭に対する偏見が残っているため、外国人女性が国内社会に及ぼす影響が少ないため、そのような国際結婚は減少したほうが良いと思う。
- ・結婚は個人の選択と決定によるものであるため、問題はないと思う。ただし、外国人女性との結婚において基本的な要素が愛と信頼ではなく需要と供給の関係ならば減少したほうが良いと思う。
- ・4番と同じように待遇が改善されるならば増加したほうが良いが、そうでなければ減少したほうが良いと思う。
- ・結婚は個人が決定することであるため、増減に関するよし悪しを判断できる領域ではないと思う。
- ・量的な賛否を答えられない質問である。量的な増加につれ、質的にも増加が認められるはずなので、質的増加は韓国の位相・国益・韓国語教育の面においてもメリットになるのであろう。ただ、年の差がかなりあるまだまだ若い女性を配偶者にするのはやめるべきである。
- ・増えてもいいと思う。将来グローバル化された韓国のために、ほかの国と韓国との間の架け橋の役割をしてくれる存在が増えてほしいので、外国人女性やその家庭から生まれた子どもの存在は大事であろう。彼らを受け入れることで韓国特有の民族主義の否定的な面（単一民族としてほかの貧しい国を馬鹿にするところ）も薄まっていくことを願うためである。
- ・旅行・交流が増えるにつれ、国際家庭が増えるのは自然な現象だと思う。もっと増えてもっと開放的な社会になってほしい。最近経済的に困っている韓国人が増えてきている中、外国人労働者や外国人配偶者に対して差別意識や国粹主義のほうに走ってしまう悪い傾向がうかがえる。国際家庭が増え、外国人と外国の文化に対する理解が深まるにつれもっと調和された社会になっていくことを願う。
- ・配偶者同士でお互い愛し合って疎通できるのであれば構わないが、仲介業者による結婚

は問題ありだと思う。

- ・人数の増減より、グローバル時代には避けられない現象だと思う。
- ・中立的。増えても減ってもいい。個人の選択の問題。ただし、途上国から来たとしても人権を無視することがあってはいけない。
- ・減るほうがいいと思う。特に仲介会社を通して入ってくるのは減ってほしい。仕事探し・身分階層の上昇を狙って結婚を利用している恐れがある。家庭内暴力・離婚率増加・ビザ問題・子ども養育・教育問題・人権問題などさまざまな問題とかがかかわっているが、韓国政府がどこまでサポートしてあげるべきか方針がちゃんと定まっていない気がする。そういった状況で受け入れる今の政策は問題があると感じる。
- ・どちらかと言えば、増えてもいいと思う。これも長期的な展望に立って考えてのことであり、少子化、高齢化の問題を乗り越えるための一つの代案になるだろうから。しかし、彼女らを社会の一員として受け入れるような政策、支援はあるべきだ。増えていいが、その受け入れと結婚後のケア、ハーフの二世に対する社会的な認識は改善すべきだと思う。
- ・仲介業者を通して韓国人男性と結婚しに来る東南アジアの女性たちの多くは、本当の愛より他の目的によって来る人が多いと聞いているがそういう結婚に対しては反対であり奨励する必要はないと思う。その一方で、男女互いの利益にもとづく契約関係で結ばれたとしてもその中で幸せを見つけて家庭を築いているのを見るとそれはそれでいいと思ったりする。減ったほうがいいが仕方ない部分も多い。
- ・配偶者として国内に入ってくる外国人女性は減らすべきだと思う。単純に結婚のために入ってきたとしても、事実上文化、言語、子どもの教育、生活への適応などによる社会の問題が多くあると思うからである。
- ・外国人の花嫁だとしても差別する理由はない。
- ・家庭を成すに必要な要素が欠けたまま国際結婚が頻繁に行われていて問題がある。国際家庭に対する国家的なプログラムがまだ充分ではないし、わが国民の異民族に対する認識の不足さ。
- ・結婚するのに国籍にこだわる時代ではないから。いずれも関係なし。
- ・増えるだろう。人の感情的な部分まで規制するのは不可能であるから。
- ・数の増減が重要ではなく、望ましい方向で国際結婚が進んでほしい。何よりも国際結婚で成された家庭が疎外されるとか、不利益をこうむることなどはなくなるべきである。
- ・なるべく是国内人同士の結婚が望ましいと思うが、農村や漁村の困った現実をみると、外国人花嫁の増加が期待される。彼女たちにもっと合法的な滞在の保障と待遇の措置が用意されるべきである。



質問項目 3「自国の経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだと思いますか。理由をお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・ 思わない。
- ・ 制限したら日本では生活できなくなる。(特に石油や石炭、天然ガス等)
- ・ 食品に関しては、地産地消ができる国であるなら日本で生産できるものは制限したほうがいいと思う。しかし、今現在の日本はそれができない生産量なので外国に頼らざるを得ない。
- ・ アート等の文化的なものに関しては制限しなくていいと思う。
- ・ 輸入を制限するとはどういうことか？禁止ということではできないと思うが、関税を高くするなどが制限をするということであれば、制限すべきだと思う。外国製品を自由に手に入れることができれば消費者はうれしいが、TPP などの問題で、死活問題と心配している人達がいる。生産者が窮地に陥る状況を作るのは反対。
- ・ 個人的には安くていいものが手に入ればありがたい。経済にとってはわからない。
- ・ 制限する必要はないと思う。他の国のものをみて努力すればいいと思う。選択する力もつくから。それは必要だと思う。
- ・ 制限というよりバランスよくしてほしい。
- ・ 状況による。日本の経済イコール世界の経済という面もあるので。
- ・ 過剰な制限はすべきだとは思わないが、多少は必要かと思う。
- ・ 制限すべきだ。安かろう悪かろうではダメ。
- ・ ある程度は制限が必要だと思う。国産のものの消費が減っているのです。
- ・ いいものがあれば国内外問わず使いたいと思う。
- ・ 本来は輸入の制限を行うべきだとは思う。自国の農業などの第一次産業を守るためには、制限も必要だとは思うが、それにより物価の上昇が起これ、低所得世帯の負担が増えてしまい、貧困が広がることも懸念される。
- ・ 少しの制限は必要だと思う。例えば第一次産業では安価で手に入る外国に頼りっぱなしで、国産にも良いところがあるのに衰退していき、自国のものが食べれなくなるのは寂しい。
- ・ 制限すべきでないと思う。ただ、製品に問題がないかはきちんとチェックすることが大切だと思う。
- ・ まずは、自国の借金を減らすために制限すべきだと思う。
- ・ 制限すべきだと思う。国土の狭い日本は、そのような対策をしないと、今後世界で不利な状況になると思うから。

- ・多少はしたほうがいいと思う。国内の生産者を守ってあげたほうがいいと思う。
- ・制限をすることで他の何かが制限されてくると思うからすべきでないと思う。
- ・思う。国内の産業が追いやられる可能性があるから。
- ・制限して国内の製品を守るべき。
- ・特に思わない。自国の製品だけでは生活できないから。
- ・製品によると思う。
- ・そうは思わない。消費者に多くの選択肢がでてくるというのは、ポジティブに考えている。日本製品の独自性にも磨きがかかるのではないかとも思う。

#### 韓国人女性

- ・反対・内需品のために輸入品を制限するというのは輸入を通じて利益を得る団体の立場から考えても問題だと思う。
- ・輸入制限は現実的に合わないと思う。自国製品に対する開発向上のためにも制限する品物は一部分に限定すべきだと思う。
- ・最小限の規制は必要だと思うが、輸入制限が経済保護につながる時代は既に終わったと思う。
- ・資源と物資が循環する限り、韓国の経済を保護するための閉鎖的な政策よりは協力的な方向へ行くべきだと思う。
- ・韓国の経済のための最小限の保護さえあれば良いと思う。韓国経済だけを保護するために外国製品の輸入を制限することは国内の業者の発展にも役立たないと思う。単に中小企業の製品を保護する次元であれば国が他の方法で保護できる工夫をしなければならぬ。現在はインターネットなどを通じて購入が可能であるため、一定の部分を制限することは時代錯誤だと思う。
- ・韓国経済を守るためには適切な輸入制限も必要だと思うが、何より内需が回復しないとイケない。内需経済が回復するために、製品の競争力が確保できないとイケない。品質・価格競争で外国製品との戦いで勝たなければいけないので、外国製品について詳しく把握しておかないとイケないと思う。外国製品を理解するためにも輸入は必要である。「鎖国」は「井の中の蛙 大海を知らず」である。
- ・一部の製品は輸入しても全然問題ないと思うが、お米などは輸入反対である。お米は自給自足が十分であり、お米の価格も安定しているにも関わらず、政府は納得しがたい損益計算で輸入をしようとしている。
- ・韓国経済を守るための制限は必要だと思う。特に農水産物の場合、基盤が弱い韓国農業の保護は必要だし、長時間運送の際に多くの農薬処理が施されるのは不可欠になるため食の安全問題にもつながる。あと炭素排出を最小化できる小規模農業を奨励し、輸入製品は慎重に選定してから輸入すべきだと思う。

- ・ある程度必要かとは思いますが、一定時点に達したら国家が制限するのは続けられないと思う。
- ・FDA が国際化される時代に輸入を制限する政策は幼稚だ。ただ、自国の製品品質をもっと改善し、競争力をつけなければいけないと思う。韓国産商品としての差別化を図る努力や政策研究が必要だ。
- ・民間の需要で制限は不必要。公共機関では大きな差が無い限り自国の中小企業の商品を消費すべき。
- ・自国の経済を守るだけのために外国製品の輸入を制限するとなると、韓国製品もグローバル競争で負けてしまい、結局は国内でも韓国製品を守れなくなると思う。
- ・韓国企業が世界のマーケットへ進出しやすく、競争力を備えるための政策的支援は考えられるが、外国製品を制限することは消費者としての選択の自由を侵害するものだと思う。
- ・制限すべきだ。国内の生産者、製造業者と共存、発展的な競争のできるレベルでの輸入は望ましいが、国内の生産者、製造業者を潰す形で行われてしまう自由貿易のようなシステムはよくない。それが不平等なシステムによって生じる社会問題を招きかねない。消費者でありながら生産者、製造業者、あるいはその業界に携わる労働者でもあることを忘れてはいけない。
- ・輸入があつてこそ輸出もありだと思う。鎖国は今の国際社会秩序にあつていないし、韓国の消費者も質の良い外国産の商品を購入できる権利があると思う。しかし大事なのは公正な競争であるべきであり、外国商品の輸入により国内産業が崩壊してしまう恐れがある場合は、国内産業と外国産商品が公平に競争できるような条件が整わなければいけない。また、輸入品か国産かという原産地の明確な表記も大事である。
- ・いいえ、一時的に輸入を制限したとしても結局いつかは開放することになるはずなので、開放はしても規制が必要だと思う。
- ・世界化されたとはいえ、自国に対する認識も共に高揚されるべきだから輸入に従う保護網も備えなければならない。
- ・外国との交流を通してもっと発展できるから。
- ・農水畜産物の場合、生態系および健康、自国の経済の自立性と密接であるから。
- ・品質の良い品物や製品は取り入れて新しく開発すべきだと思う。
- ・現在大部分の商品において貿易障壁はなくなったと思うが、特に、お米の場合は特殊性があるから輸入産のお米に対しては制限が必要だと思う。国際的なお米の市場で、お米主権を守っていくのが何より重要だと思う。
- ・グローバル社会の下では、外国製品の制限は不可能だと思われる。消費者たちは自らさまざまな情報を持ってから選択的消費をするから。
- ・国家間 FTA、輸入法案は不可避の状況だと思われる。反面、国産品も外国への輸出が活

発にできるよう国家競争力を養う必要がある。

質問項目4「他の国と対立するとしても、自国の国益を追求すべきだと思いますか。理由をお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・どちらとも言えない。
- ・例えば北方領土や竹島のようなものに関しては国益を追求して留めようとしているのなら、それは今すぐ中止しても良いのではないかと考える。
- ・将来の日本の国益かそうでないものか、どちらを重要とするのかを考えたほうが良い。
- ・日本の国益は追求してもらいたい。対立するとしてもといわれるとそこはなんとか外交政策を上手にやってもらえないかな。
- ・対立してしまっても利益を追求してほしくない。
- ・すべきだと思う。日本として一国を守る、国として繁栄すべきだと思うから。
- ・思わない。
- ・国益の種類により違う。
- ・平和が一番大事なので、対立してまで追求すべきだとは思わない。
- ・対立してまで追求すべきではない。
- ・日本の経済を成り立たせる程度には国益は必要だと思う。対立してもいいわけではないが。
- ・対立はあまりしたくない。
- ・ケースバイケースではないかと思う。いいなりにすぎると国益どころか誇りまで失うことは良くないと思うし、自国の立場ばかりを主張してしまうことも、他国との摩擦が広がり日本の立場を悪くしてしまう。
- ・日本の国益だけが全てではないと思うので他国と譲り合いながらの政策を取ってほしい。
- ・わからない。追求しすぎることはよくないように思う。
- ・今はすべきだと思う。
- ・ほどほどに追求すべきであると思う。戦争などの争いになるのなら避けるべきであるが、日本も一つの国であるので、国益は大事であるから。
- ・全体の国益を考えるといいと思う。
- ・対立はあまりよくないと思う。
- ・思わない。緊急の場合に助けてもらえなくなるかもしれないから。
- ・国益を追求しなくてもいいと思う。
- ・特に思わない。
- ・追及すべきでない。長期的な視野に立ち、友好関係を維持しながらビジネスをすべき。

目先の利益だけでは産業は成長しない。

- ・日本の国益がそのまま国民に有益となるのかは疑問。他国と対立することは、むしろ国益追求と矛盾する結果を生む危険があると思う。

#### 韓国人女性

- ・利益を追求する過程がみんな勝てない戦いであるならば国益を追求すべきだと思う。経済発展の指標は相対的であるから。
- ・自国の国益は常に優先順位であるが、世界動向に合わせて判断すべきだと思う。
- ・敢えて対立しなくても国益を追求できる方法は色々あると思う。
- ・他の国とどのような部分において対立するかによって異なるが、国防や安保のための部分に関しては国益を追求すべきであると思う。グローバル化の時代において自国を保護する問題は大切だからである。他の部分においては国益を追求するより協力の道を選んだほうが良いと思う。
- ・いいえ。他の国と対立しながら自国の利益のみを追求することはできず、お互いの意見を調整する方法を模索すべきであると思う。
- ・国際関係において「対立」と「友好」はコインの両面のようなものである。国益は当然追及すべきであるが、目の前の国益のために「対立」を選択したり、過去を隠すための「対立」は賢明でないと思う。対立か友好かを決めるのは、最高権力者一人の問題ではなく、その国の人々の気持ちを考慮しなければいけないと思う。
- ・韓国は先進国でも強大国でもない。対立を避けるばかりだと、韓国の国として危うくなり、自国民の安全を揺るがす問題が起こりかねない。領土問題など、本当に重要な国益のためには対立は当然といえる。
- ・国益といってもいろいろあるだろうが、対立と葛藤を深刻化させる国益の追求はよくないと思う。どのような基準で国益を追求するかが大事である。たとえば領土問題などは相手をむやみに刺激する発言をし、国民の愛国心を助長することで政治的な利益を得ようとするをやめ、お互い調和できるように対処の基準と市民意識が大事だと思う。
- ・強硬対立でなければ必要だ。
- ・国益を追求するにおいて未来志向の政策を追求し、自国民の愛国心や国家観などの教育を強化することで、韓国人としてのプライドを持てるようにしたほうがグローバル時代の対応策だと思う。対立を選んでしまうと一時的な対策にはなるかもしれないが、将来孤立や落伍してしまう恐れがある。国際化による開放は領土の狭い韓国にとっては決して不利な条件ではないと思う。グローバルという大きい舞台で活躍できる同等なチャンスを得ることともいえる。大変な道のりになるかもしれないがそれを克服すべきだと思う。
- ・どんな対立であるかの問題。対立がすべて悪いものでもない。相手の気持ちに配慮して

国益を追求しないのは愚かな判断。しかし、人類の普遍の価値を無視する国益の追求は韓国を孤立させるおそれがある。結局は国益に反することになる。

- ・国際関係で国益を最優先に考えるべきだと思う。しかしその国益とは何かという定義が大事である。たとえば、アフリカの環境を破壊してでも韓国企業の生産工場を設立するとなると国益ではなく企業の利益を優先することに過ぎない。つまり、国際関係において、正義や善にもとづいて国益や自国の主張をすべきだと思う。
- ・当たり前だ。国益が優先されなければならない。自由貿易という名で得をするのはあくまでも国民でなければならない。それが特定の企業や集団の得になるために行われてしまい、結局それが国民や国に損害を与えてしまうことになれば…。他国との対立を恐れて未来に迫ってくるはずのリスクに目をつぶってしまったらいけない。
- ・当たり前だ。韓国は5千年の歴史の中での大部分を受身の立場であったと思う。国際関係は対立と妥協の繰り返しである。韓国だけ対立をさけるため国益をすてるのは国家としてプライドを放棄することであり、ほかの国から馬鹿にされることを自ら許すことになるだろう。外交の役割を十分はたして、対立と妥協の対象やタイミング、強弱を調節すべきであろう。
- ・無理に対立を甘受してまで自国の利益を追求する時代ではないと思う。対立よりは融和であるべきだと思う。対立してしまうと今すぐでなくても将来違う形ででも損失が返ってくると思う。
- ・外交と国益との選択において、国家が損をするとはいえ、推進すべきの問題は当然あると思う。
- ・他の国と対立するとしても、韓国の国益を追求すべきだとは思わない。
- ・国益のためには勿論のこと。
- ・自国の経済保護のためには当然のこと。
- ・国益のためにほかの国との対立は仕方ない選択になるかも。
- ・そうではない。
- ・経済面での対立は国家間の競争として受け入れられると思うが、安保面での対立はあまり望ましくないと思う。

質問項目 5「外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、自国の固有の文化が損なわれていると感じることはありますか。理由をお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・むしろ外国文化に触れることで日本文化の美しさに気づかされ、日本文化を継承していこうという動きが見られるから。
- ・また、海外文化に触れることで新しい日本文化が生み出されることもある。

- ・ありません。
- ・外国の文化に触れることにより、より日本の文化にも目がいくと思う。日本文化を見直し、大切にしようとなるのではないか。
- ・もともと日本の文化は下火なので、外国の文化が入ってくるかとは限らないと思う。
- ・ありません。日本の文化として確立しているのです。
- ・継承されているものもあるので、特に損なわれているとは思わない。
- ・全くない。
- ・逆に日本の文化を意識するようになると思う。
- ・なし。特に気にならない。
- ・ありません。
- ・そこまでは思えない。規制がひどければ、それは表現の自由を侵してしまうことだと思うし、外国の文化に触れることで、自国の文化を見直し、改めて評価できる機会を得ることはあると思う。
- ・外国の文化に触れることで逆に日本の良さを見出し、日本の文化を大切にしようとしている人もいるのでそうは思わない。
- ・損なわれることはないと思う。触れていくことはむしろいいと思う。
- ・そうは思わない。外国の文化に触れることは、自分の感性を広げる一つの方法だと思う。
- ・損なわれるとは思わない。お互いの国の文化に触れ、意識を高め合うのもよいと思うから。
- ・感じる。現代の若い人は日本古来の文化は京都などに行かないと普段の生活で感じるものが少ないと思う。
- ・日本の文化には影響はないと思う。
- ・感じない。それぞれの文化が保たれているから。
- ・よくわからない。
- ・ない。
- ・ない。多文化を意識することでより自国の文化を認識するのではないか？
- ・ほとんどないと思う。日本固有の文化を損なう原因が外国からのものとは限らないから。

#### 韓国人女性

- ・固有文化は損なわれないうと思う。損なわれた部分もまた新しい文化だと思う。
- ・損なわれたと思うより、外国の文化に接しながら韓国の固有文化を忘れていくと思う。
- ・固有文化が損なわれることが外国文化の影響だとは思わない。
- ・ないと思う。韓国の固有文化が萎縮されるだけであって損なわれることはないと思う。

- ・損なわれていると思う。グローバル化が進みながら韓国固有の色がどんどん薄くなっていくと思う。とりわけ、言語において韓国語を代替する外来語の表記が多くなるにつれ韓国語にある文化もともに去っていくと思う。
- ・外国の文化に触れる機会が増えるからといって固有の文化アイデンティティを失うとは思わない。ただ、無分別に「新しい」ものを受け入れることは「固有のもの」の存在が薄れてしまう可能性はあると思う。良いものは受け入れ、害になるものは排除する「見分ける目」を養うことが大事であろう。
- ・固有の文化アイデンティティに損失はないと思う。固有の文化アイデンティティの問題より、固有の文化自体の魅力を高める努力をしたほうが大事だと思う。韓国固有の文化を保存する努力さえあれば、韓国文化の発展のためにも外国の文化を取り入れるべきだと思う。
- ・いいえ、外国文化と韓国文化を比較し、われわれ固有の特性をもっと深く理解できるようになると思う。また外国文化の流入はもう禁止できない時代だと思う。
- ・ある程度損失があるかもしれないが、それはわれわれが自分の文化を失わないように努力すべき部分である。
- ・韓国固有文化は必ず守るべき、受け継がなければいけないことだろう。だからといって外国の文化に接すること自体を禁じたり、回避したりするのであれば今の時代ではもう時代遅れで笑われるだけだ。自分のものは継承・発展させ、外国のものは受け入れながら固有のアイデンティティを高揚させ、それをうまくあわせて発展させることが大事だと思う。そのようなことができる教育が重要だと思う。
- ・外国との接触が増えるのが問題ではなく、自国の文化に接する機会が少なくなるのが問題。一般家庭で育った子どもが伝統楽器に触る機会はあるか、韓国の絵などを鑑賞することはできるのか。学校教育でバランスをとってくれないと。
- ・異なる文化と接することで自分の個性に気付くことができると思う。外国の映画、音楽、書籍に接する機会が増えるにつれ、韓国固有のアイデンティティをもっと発揮できるような努力、世界で受け入れられるための工夫をしてきたため、韓国の文化や国家イメージがアピールできたと思う。
- ・そういうことはまずないと思う。文化というのは、ほかの文化に接することで固有の文化の大切さ、独特さがもっとわかるはずだから。
- ・外国文化の受け入れにより韓国固有の文化が失われてきたとは確かにいえるが、仕方がない部分もおおい。自分の国のもの、古いものなら、とりあえず高く評価し、固有の文化にあまり興味を持たない韓国人にそれを強要するようなことは間違っていると思う。韓国固有文化のアイデンティティに損失を与えられるのは外国のものではあるが、「新しい」ものなのである。韓国が近代化や意識の変化が遅れたため、意識の成長が十分できず外国のものや新しいものの悪い影響を強調しているように思う。昔のまま



を温存させようとするばかりで発展がない分野には問題を感じる。

- ・いいえ。外国の文化にふれることで韓国固有の文化に客観的に見ることができるようになるし、自国の文化の大事さ、愛着も沸いてくると思う。
- ・時代によって新しい文化の流入はあったし、現在も同じである。固有文化と新文化との触れ合いの過程だと思う。代わりに、我が文化に対する主体性を持っていないからなと思う。
- ・様々な機会を通して発展ができると思う。
- ・外国文化との触れ合いを通して自文化をもっと理解する機会になれる。
- ・もう損われていて、固有のものは亡くなったと思う。
- ・そんなこともある。若者たちの間では固有文化に対する関心が薄くなっている。
- ・韓国の文化が損なわれるのは外国の映画、音楽などの外的要因ではないと思う。固有文化自体を大切にす姿さえ重んじる社会的な雰囲気定着すべき。
- ・グローバル化・外国文化との交流は当然の現状であり、自然なこととも思われる。その代わりに、わが国の「韓流」を世界化するのも大切である。

質問項目 6「グローバル化は、自国の経済にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・思う。
- ・他国と関わりを持ち自国にとどまらないことは素晴らしいと思う。
- ・思う。
- ・日本は資源もなく小さな国なので、日本国内だけで経済の成長をはかるのは無理。ある特定の国々との関係だけでは必ずしも日本の経済によいとは言えない。本当のグローバルな視点をもっている必要があるのでグローバル化は日本の経済にとってよいことだと思う。
- ・いいと思う。
- ・思う。日本にとって刺激になるから。
- ・よくわからない。
- ・日本はすでに経済的に世界と交わらないと生きていけない国になっていると思うので。
- ・良いこと。よい刺激を受けたい。
- ・現在の世界では、グローバル化を推進していかななくてはならないのではと思う。特に日本は、人口が先細りしていく状態にあるので、世界に目を向けて世界の市場でも勝負できるような力を得ていくことが必要なのではと思う。

- ・良いことだと思う。様々な国から色々な経済均衡のさせ方を身を持って学べるから？
- ・いいことだと思う。鎖国しているわけではないのでできるだけ他国とつながることは必要だと思う。
- ・よいことだと思う。世界に誇れる日本になってほしいから。
- ・良いことだと思う。具体的にと言われるとわからないが、景気はよくなると思うから。
- ・いいと思う。海外に行くことで需要もあがるから。
- ・日本国内の経済が悪くなるように感じる。
- ・思う。円高、円安などを考慮して。
- ・経済活動へのフォローが必要だと思う。
- ・どちらでもない。
- ・業種による。しかし、市場は世界に拡大するしか、企業の成長は見込めない。さらに、成長できない企業は経済活性化にもつながらない。よって、良いこと。
- ・いいとは思わないが、大資本の一人勝ちのような状態になり、地方色が失われていくという状況を目の当たりにして、人々が大切なもの大切なことは何か考えさせられているのも事実だ。流れとして避けられない現在のグローバル化のなかで、反グローバリズムの存在意味が気づかれつつあるのではないかと思っている。

#### 韓国人女性

- ・良い影響を及ぼすと思う。製品の開発費用が急増することを防ぐために生産能力と安い労働力を保有した世界市場を利用することができるから。
- ・両面性は常に存在すると思う。良い影響は国内より優秀な産業に接して国内産業や文化が発展するという点、国内文化が保守的な部分がある反面、創意的で自由な部分が重要視される点。反対に韓流文化の拡散によって国の地位が高まる点などがある。
- ・グローバル化は輸出依存度が高い韓国経済をより発展させると思う。何十年か経ったら今の輸出主力産業が後進国の挑戦を受けるようになるため、グローバル化は韓国経済に良い影響を及ぼすとは思わない。
- ・断定することはできないと思う。ある部分には良い影響を及ぼすし、ある部分には悪い影響を及ぼすから。
- ・良い影響を及ぼすと思う。競争社会において外国の良い商品が韓国に輸入されると、国内業者が多様でもっと良い商品を生産するきっかけにもなると思う。
- ・グローバル化はインターネットで世界が一つにつながる今の時代に不可欠なことといえる。昔と比べ情報の共有、人と人のコミュニケーションも早くなっており、それによって世界の人々が協力し合える関係になってきていると思う。人的資源がもっとも大事な今の時代にグローバル化は経済発展のための重要な要因となるだろう。
- ・グローバル化は良い悪いではなく、それを認めざるをえない時代になっており、グロ

ーバル化は当たり前だと思う。インターネットやスマートフォンなどの発達で世界のどこでもつながる時代である。このような時代に韓国経済とグローバル化は分離して考えられないと思う。

- ・経済的にグローバル化はよくないと思う。Localizationのほうが持続可能な経済発展につながると思うし、韓国も経済的に外国の影響を少なく受ける先進国になれると思う。また環境への悪影響を考えるとグローバル化に反対だが、一方、輸出中心国家である韓国の経済方針を考えるとグローバル化によって肯定的な影響もあると思う。
- ・良い。お互いメリットのある分野の交易をすることで質のいい商品が安く購入できたり、韓国企業が海外へ新しい市場を開拓して進出できるから良い面が大きいと思う。
- ・グローバル化は韓国経済に良い悪いではなく今の時代を生きていくのに逆らえない運命のようなものと感じる。韓国だけグローバル化に参加しないということは考えられない。
- ・中立的グローバル化の定義をどうするか。市場開放によって国内では生き残れない中小企業が海外に進出することができるのはいいこと。韓国の経済には得もない。
- ・グローバル化は逆らえない世界的流れだと思う。韓国経済もそれに応じた路線を歩んでいるように、世界を舞台に他の国や企業と共生・成長できるチャンスを探すことが大事なことであって、グローバル化自体が韓国経済に良いか悪いかはもう判断する意味がない。
- ・特定の企業に限らず、色んな分野の中小企業を育てられる、またはバックアップできる構造の中であれば、グローバル化は国の経済力の伸長にいい影響を与えると思う。グローバル化というのは、多様化を基にしたものなのでは。
- ・5番で答えたような問題を解決するためにもグローバル化は必要であろう。狭い国内に満足せず、k-popが国内だけでなく世界で人気が出ているようにグローバル化によって世界でもっと影響力のある国になってほしい。
- ・いいえ。市場が小さい国では外部の影響を受けやすいので必ずしもいいとは限らない。
- ・様々な交流を通して世界化になる。望ましいと思う。
- ・避けられない課題だと思う。最大限に避けるといいが、それが現実であり、どうせ世界化するなら早くやってしまうのがいいとおもう。
- ・人的、物的資源などの交流を通じてお互いに協力する「win-win」の戦略。
- ・望ましくない。経済成長には役に立つかも知れないが、分配にはあまり役に立たず、むしろ格差が広がる。
- ・グローバル化した社会では孤立した国は発展しにくいと思う。
- ・鎖国政治は朝鮮時代の誤った産物だと思われる。これ以上世界化に反対するのは無理だ。

質問項目 7「グローバル化は、自国人の雇用機会にとってよいことだと思いますか。理由をお聞かせください」の回答例

日本人女性

- ・どちらとも言えない。
- ・日本企業に対しての日本人雇用者数が外国人雇用者数に比べ少なくなっているから。その意味ではいいことだとは思えない。しかし、この機会に日本人は日本の教育の緩さを痛感して自分自身を見つめ直して海外でも対応できる力を身につけることができるかもしれない。その意味ではいいことだと考える。
- ・雇用機会にとってはいいことだと思う。単純に機会が増えると思うから。
- ・いい面もあるし、悪い面もあると思う。悪い面は日本自体も職業難なのに、海外の人がつくとその分仕事が減ってしまう。よい面はもっともっと規模を広げていけば、職業に付ける人もでてくる。
- ・いいことだと思う。国内だけが適正な場所であるとは限らないから。海外にも自分の居場所があるかもしれないから。
- ・幅が広がるのは良いことだと思う。
- ・日本人にとってはどうかかわからないが、日本にとっては必要なのではないかと思う。
- ・良いこと。よい刺激を受けたい。
- ・残念なことに、私を含めて英語を母国語のように使いこなす人材は、まだまだ少ない状況だと思う。少なくとも英語を母国語と同じように使いこなせる教育などを充実させていくことで、グローバル化に対応できる人材を増やしていくことが大切なのではと思う。
- ・良いことだと思う。就職難が続く現代では仕事の可能性が広がるから。
- ・さまざまな雇用先を作ることはいいと思う。ただ日本の技術が流れていくことは起きると思う。
- ・不況なので、良いことだと思う。
- ・良いことだと思う。日本人の外国進出にも影響すると思うから。
- ・海外では現地の人の方が安く雇われるのでそんなにいいとは思わない。
- ・言語の壁が出てくるから、あまりよくないと感じる。
- ・いいことだと思う。職業の幅が広がるから。
- ・働き口が増えるのはいいことだと思う。
- ・わからない。
- ・人によるのではないか。
- ・日本人にとってという意味では、よいとは言えないが、これは若い人たちに早く危機感を持ってもらいたいことだと思っている。アジアからの強力な労働力が入ってくること、彼らと競争していかなければならないのだから。

## 韓国人女性

- ・グローバル化を通じて雇用の機会及び韓国経済の基盤構造を拡大するならば、内需活性—国民安定—経済革新の相互連携した問題の解決により近づくといい、その結果、韓国人の雇用機会が増えると思う。
- ・国内における単なる雇用の問題ということであればグローバル化は人件費の高い国内人材の就職問題を解決できる部分は一部分に過ぎないと判断され、かえって国内の労働集約産業が開発途上国へ移る傾向があるため、グローバル化は国内の雇用問題の改善に及ぼす影響はそれほど大きくないと思う。しかし、国内の職場の文化においては海外のリーダーシップのある企業の影響を受け、内部マーケティングに関心を持つようになり、多少保守的で官僚的な国内職場の文化を改善することができる肯定的な影響を及ぼすと思う。
- ・教育に高い関心を持っている韓国の特性は世界市場においても競争力ある人材を多く生み出していると思う。しかし、国内における雇用範囲はこれに及ばず失業率が増加している。このような時点でグローバル化が加速すれば国内市場の狭い扉に閉ざされていた若い人材が世界へ進出できる良い機会になると思う。
- ・良い影響を及ぼすと思う。韓国も今や成長の時代を経て停滞の時代へ向かっており、今後ますますこの現象が続くと思うからです。専門技術、専門領域、専門知識を持っている人々は国の境界を越えてどこでも自由に働くことができなければならない。したがって、グローバル化を通じて韓国の雇用問題を解決することができると思う。
- ・良い影響を及ぼすと思う。グローバル化が進むと、韓国だけでなく海外へ進出できる機会が多くなり、多様な経験ができると共に、その経験を基にして競争力をつけることができるため、雇用問題の解決に良い影響を及ぼすと思う。
- ・雇用機会において良いと思う。技術の交流や経験の蓄積によってもっと多様なチャンスが来ると思う。
- ・韓国は小さい国である。一方、教育熱心の国であり、世界に通用できる人材がたくさんいる国ともいえる。このようなメリットを十分生かしつつ、自国の国益のためにグローバル化を進めたほうが良いと思う。
- ・雇用機会に具体的にどのような影響があるかわからないが、サムスンなどが外国へ工場を移転することを考えると雇用機会が減ると思う。一方では韓国人が外国で働けるチャンスが増えるのではないかと思う。インターネットの発達で国家の物理的な境界が意味のない産業も発展すると思うのでその分雇用の機会も増えるかと思うし、若者が海外へ進出するのも今の時代は自然なことだと思う。
- ・良い。韓国に進出する企業が新しい仕事を創出する可能性、海外へ進出した韓国企業が新たな利益を作り出すことによって経済がうまくいくようになったらその分雇用も円

滑になると思う。

- ・企業や個人にとって機会や選択の幅が広くなり、多様化してくると思う。個人・家計・企業の利益が極大化されれば国家が豊かになるのも当然であり、このような政策こそわれわれが志向すべき目標だと思う。ただし、企業や生産者・投資家が利潤を創出できるように、規制緩和をし、投資に有利な条件を提示するなど、国際化にふさわしい環境づくりをすべきである。また、働く人のためにグローバル化をサポートする政策が必要である。一方で国民も一人ひとりが世界の中での韓国人としてちゃんとした意識（国家観）をもってほしい。
- ・中立的。国内で雇用の機会が少ない優秀な人材が海外で雇用されることはいい。ただし、その数が全体に比べて多くはない。
- ・グローバル化は雇用機会の面において良いと思う。たとえば、開発途上国には韓国が成長モデルとして、韓国企業の競争力と技術力を共有しながらその国の人力や資源を活用することができれば、お互い成長できるであろう。韓国国内ではなく、韓国企業が海外へ進出することで新しい雇用機会が生まれると思う。（定年退職した人が海外で技術やノウハウを教える職種など）
- ・まず国内の雇用市場が安定してからの問題だと思うが、国の立場からすれば国内に入っている外国の企業に良い人材を渡してしまう構造では雇用機会の拡大ということも無意味なことであるから。
- ・国内外に肯定的結果が期待できると思う。韓国に対する国際的な認知度や肯定的な評価が増えると、海外に居住している韓国人の就学・就職の機会が増えることも予想できる。また韓国と他の国との技術や人的交流も活発になると思う。また、韓国企業が海外へ進出することで企業の規模が拡大するに連れ、韓国内での雇用機会や雇用規模も増えていくと期待できる。
- ・新しい雇用のチャンスもあるかもしれないが、その逆もいえる。雇用条件、職場の環境、市場の秩序を悪化させる恐れも有る。
- ・様々な文化圏でも能力を発揮し、自国にも発展できる機会を提供することができるから。
- ・世界化したからといって、自国民の職場の総量自体の減少ではなく、国家間の交流の主人公としての役割をする人材が生まれるから、より肯定的だと思う。
- ・産業現場で、自国民の労働者を充当できない事情で、その代わりに外国人労働者を雇うことになるが、外国人労働者を雇ったことによって生じる利益はあまり大きくない。
- ・世界化時代に競争力を備えた人材を養うことができると、雇用の舞台がもっと拡張される。不利だとは言えない。
- ・自国民の雇用機会の縮小につながる。
- ・地球社会の一員として共生すべきだから。

質問項目 8「英語はあなたにとって必要だと思いますか。英語に関してのご意見を聞かせてください」の回答例

日本人女性

- ・必要だと思う。
- ・日本にとどまってはいけない、世界中の人と関わって生きていけるようになるためには英語が必要不可欠だと思う。
- ・英語教育に携わっているので、必要。
- ・グローバル化の社会に対応できるようスキルを身につけさせてあげたいという気持ちもあるが、日本ではコミュニケーション能力そのものに危機感があり、そのような力をつける言語教育としての英語教育が必要と思う。
- ・普段の生活の中ではいらなくても、しゃべれば良いと思う。
- ・必要だと思う。普通に考えても、英語で情報が取れることが大切だと思うので、また、発信することなど。ネットオークションなどでも。それでごはんを食べているからです。
- ・今のところ必要ないと思う。
- ・日本を理解するためにも必要。
- ・一番必要だと感じるときは海外旅行へ行ったとき。
- ・必要というか話せた方がいい。
- ・必要。いろいろな国の方と話せるので。
- ・私は専業主婦で、身近に外国の人とも接する機会もない。その意味では私には、現在必要ではない。でも、私は英語が好きだし、英語を学ぶことは楽しいと思える。英語を学ぶことで、自分の世界が広がるような気持ちになれる。
- ・必要。世界にどんな考え方の人がいてどんな国があるのかなど知りたいことを教えてくれるのが英語だから。
- ・私はあまり海外に行きたいという思いがないので、あまり必要に感じない。しかし、最近の日本社会ではある程度の英語の知識は必要なので、切ることはできないと思っている。
- ・必要だと思う。私自身英語は苦手だが、勉強して英語を身に付けて日本に限らずいろいろな人と交流したい。
- ・必要である。多くの人とコミュニケーションをとるうえで、持っておくべき能力であると思う。
- ・世界の人々とかかわるためにとっても大切なものだと思う。
- ・必要だと思う。世界が広がるから。
- ・必要だと思う。

- ・グローバル化が進む世の中にとって英語は必要だと思う。
- ・特に思わない。
- ・私個人には必要。ビジネスに使うかどうかは考えていない。単純に好きだから、勉強している。
- ・自分の知っていることをなるべく多く英語でいえるようになったらと、常に思っている。適切な英語表現が浮かばなくても、とにかく言いたいことを伝える姿勢が大切だと思う。

#### 韓国人女性

- ・必要だと思う。
- ・必要だと思う。
- ・グローバル化は既に我々の生活に密接に関わっており、英語は誰にも基本で必須だと思う。業務的に必要でなくても海外旅行や海外図書、海外品物、Facebook など SNS を用いて海外の友達とコミュニケーションをとるなど日常においても英語は必要な要素であると思う。
- ・必要な部分だと思う。情報が価値になる時代において情報を習得できる通路が多くなるというのは個人においても競争力であり、大きな強みだと思う。
- ・英語は必要だと思う。韓国語ではない英語で接するとき、より多くの情報を迅速に接し得る場合もあるから。
- ・必要だと思う。国際共通の言語として必要だと思う。
- ・必要である。世界共通語であり、英語圏への留学や移住者も増加している。
- ・外国へ旅行に行ったとき英語が使えて何も不自由を感じなかった経験により英語の重要性をあらためて感じた。しかし、英語圏母語話者を優遇することに対しては問題があると感じる。韓国に何十年間も住んでいるのにも韓国語が話せない人を見ると、英語や英語話者に対する優遇に対する無条件的な配慮にすぎないと思う。
- ・必要である。世界が一つになっていく状況で必要だし、また韓国の教育環境や未来を考えると現在私の子どもたちが 20 代になったときは、母語である韓国語ぐらい英語を使う時代になる気がする。また、そのとき自分の年齢もまだ社会的活動を続ける中年になっている。自分の社会活動・子ども世代とのコミュニケーションのためにも英語はますます必要となっていくだろう。
- ・グローバル化によって意思疎通のために英語は必須だと思う。現在仕事でたまに外国人と意思疎通しないといけないときがあるがそのたびに英語のうまい人にいちいち頼むのも面倒くさい。英語だけでなく外国語をやって置くのは今すぐ使わなくても将来旅行だけでなくビジネス的にも必要になってくると思う。
- ・必要である。グローバル化が進むにつれ、海外旅行だけでなく国内で日常的にも英語を



使う機会が増えると思うから。

- ・グローバル化に賛成なら英語は基本。「喉の渇いた者が井戸を掘る（切実な者が仕事を急ぐ）」ということわざがあるように。
- ・より早い、正確な情報の修得のために必要。国内の事情が安定すれば一般市民が就職のために英語を勉強する必要はない。
- ・今在学中の卒業要件の一つとして、考え中の転職先への志願要件として必要である。そのほか、英語を話さないといけない状況は特別にないが、英語が出来る人には憧れがある。なんとなく英語をうまく話したいという強迫観念に近い気持ちがある。コミュニケーションの道具というより、欲求として英語の必要性を感じている気がする。
- ・日常生活では必要としないが、旅行などの経験では便利だと思うので必要となることもある。
- ・必要に決まっている。英語は国際共通語である。海外旅行の際は現地のことばは知らなくても英語ができないと食事もできないかもしれない。海外へ行かなくても学習する際も韓国のものだけにたよってはいけない。英語で書いてある膨大なデータ、資料、書籍などは、翻訳だけではものたりないときが多い。韓国より民主主義や産業社会化に成功した欧米の影響は実に大きい（いいところばかりではないが）。そういった国々の文化を理解するためには言葉を理解するのが大切である。われわれの暮らしに浸透しており大きな影響を与えている欧米、特にアメリカを理解するためにも英語は必要であろう。
- ・個人的にはそれほど必要性を感じない。国際共通語として必要かもしれない程度。
- ・必ずしも必要とされるものではないと思うが、できればやっておくほうがましだと思う。
- ・必要です。しかし、英語を使う機会のない人々皆が英語がわかる必要はないと思う。
- ・英語はコミュニケーションの一つに過ぎない。学問の目的にはならないと思う。
- ・英語はより広い世界への進出のための武器、手段である。
- ・世界共通語として学ぶべき。英語でコミュニケーションをし、協力し合うことができる。
- ・外国への旅、物の購入などにおいて必要だ。
- ・英語は私にとって必須なものである。英語は世界に近づける足場である。